第36回 2025年4月26日(土)、27日(日)、28日(月)
東京国際コイン・コンヴェンション

36th TOKYO INTERNATIONAL COIN CONVENTION 2025.4.26~4.28

東京・日本橋 ロイヤルパークホテル3階 **入場無料**



期間中 無料鑑定・相談コーナーを設置

主催/日本貨幣商協同組合

お問い合せ
東京都港区新橋2-16-1 ニュー新橋ビル409
TEL.03-3508-1701 FAX.03-3593-1029
■ 日本貨幣商協同組合ホームページ
www.jnda.or.jp

■ 後援・出展／独立行政法人 造幣局・独立行政法人 国立印刷局
■ 後援／外務省・文化庁・日本赤十字社・中央区・フランス大使館
■ 協賛／(株) ロイヤルパークホテル

5月1日はコインの日

ブース No.M15



YOU COLLECT.
WE PROTECT.

Leading coin and banknote authentication, grading and collecting resources.

PCGS ASIA
Facebook

WhatsApp
Official Account

Instagram
@pcgsasia

第 36 回東京国際コイン・コンヴェンション開催にあたって

Welcome to the 36th Tokyo International Coin Convention



令和 7 年 4 月
日本貨幣商協同組合
理事長 竹 内 祐 司

世界に認められた国際的コインショーのひとつで、貨幣愛好家の祭典である日本最大級を誇ります、東京国際コイン・コンヴェンションが今年も開催の運びとなりました。

開催にあたり、ご後援を独立行政法人造幣局・独立行政法人国立印刷局・外務省・文化庁・日本赤十字社・中央区・フランス大使館様より賜っております。永きに亘るご支援を心より感謝申し上げます。また、各地の古銭会や貨幣研究会、収集家の皆様にも多大なるご協力を頂き、厚くお礼申し上げます。

今年のメインテーマは「激動の貨幣 昭和 100 年～お金の移り変わり～」です。大きな戦争や高度経済成長期と、かつてないほどの激動の中を疾走した「昭和」が、今年で改元から 100 年の節目を迎えました。歴史の「生き証人」ともいえる貨幣においても、昭和に発行されたお金の額面･材質･デザインは、100 年の間に様々な移り変わりを経てきました。

今回も造幣局・造幣博物館及び収集家の皆様のご協力により、「昭和」に発行された貴重な貨幣の数々をご覧いただき、昭和の息吹を感じていただければと思います。

主催を務めます「日本貨幣商協同組合」は、健全な貨幣収集の発展を目指しております。信頼を基本とする貨幣業界で、組合事業の 3 本柱と位置づけているのが「カタログ事業」、「催事事業」、「鑑定事業」であります。

毎年発刊している「貨幣カタログ」の近代化、充実化をさらに図り、貨幣収集の「バイブル」の存在になることを目標としています。近年、若年層を中心とした催事への来場者がとても増えています。今後も収集のきっかけとなるような啓蒙活動に力を入れ、様々な企画を取り入れてまいります。そして、収集家がより安心して商品をご購入できるために、我が国唯一の公式鑑定書の重要性について再認識したうえで、若手組合員へのさらなる育成、有識者による講演や勉強会等積極的に実施していく所存です。

今回の東京国際コイン・コンヴェンションが、貨幣を愛する皆様の出会い・交流の場となる事が出来れば、大変喜ばしい事と思っております。

April, 2025
Japan Numismatic Dealers Association
Chairman **Yuji Takeuchi**

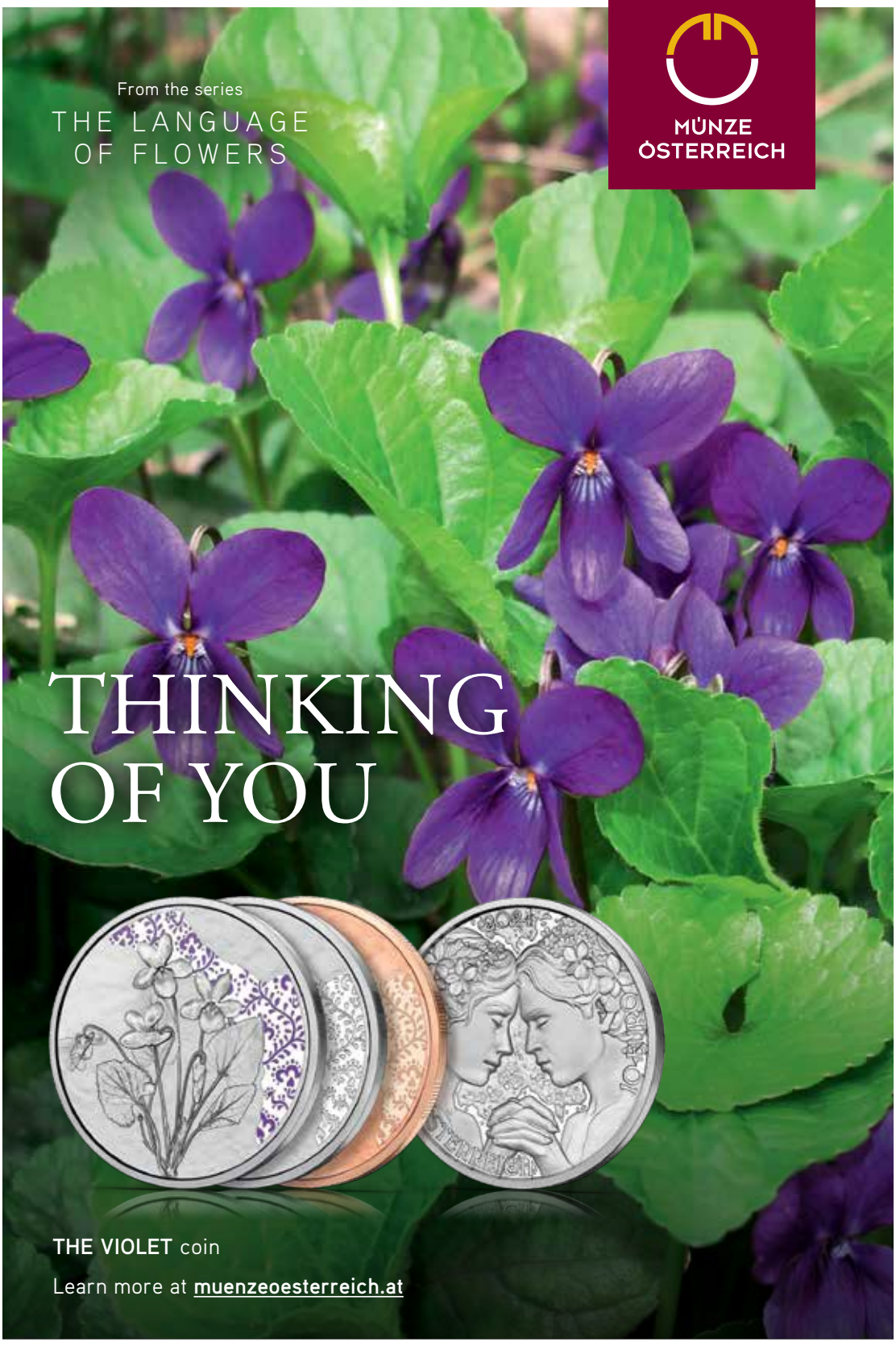
The Tokyo International Coin Convention, one of the world's most renowned coin shows and the largest of its kind in Japan, is proud to host this prestigious event once again this year.

We would like to take this opportunity to express our sincere gratitude to the Japan Mint, the National Printing Bureau, the Ministry of Foreign Affairs, the Agency for Cultural Affairs, the Japanese Red Cross Society, Chuo City Tokyo, and the Embassy of France for their continued support. We also extend our heartfelt appreciation to numismatic societies, research groups, and collectors from various regions for their invaluable cooperation.

This year's main theme is "Turbulent Money: 1945-2015 – The Changing of Money." The Showa era, marked by significant upheavals—including major wars and a period of rapid economic growth—has now reached its 100-year milestone since the era name was first introduced.
Money, often regarded as a "living witness" to history, has undergone remarkable transformations over the past century. The face value, materials, and designs of currency issued during the Showa era have evolved alongside Japan's dynamic economic and social changes.
Thanks to the cooperation of the Japan Mint, the Mint Museum, and dedicated collectors, we are pleased to present a collection of valuable currencies issued during the Showa period. We hope this exhibition allows you to experience the spirit of the Showa era firsthand.

The Japan Numismatic Dealers Association, the organizer of this event, is committed to promoting the healthy growth of numismatic collecting. In the trust-based numismatic industry, the Association's activities rest on three main pillars: cataloging, event organization, and appraisal services. Our goal is to continuously modernize and enhance the Currency Catalogue, published annually, striving to make it the definitive "Bible" of coin collecting.
In recent years, we have seen a significant rise in event attendance, particularly among young collectors. To further inspire interest in numismatics, we will continue to expand our educational initiatives and introduce a variety of new projects. To ensure collectors can purchase with confidence, we will reaffirm the importance of Japan' s only official appraisal certificate. Additionally, we will actively promote training for young association members and offer lectures and study sessions led by industry experts.

We hope the Tokyo International Coin Convention will serve as a vibrant gathering place for coin enthusiasts to connect, share their passion, and engage with one another.


From the series
THE LANGUAGE
OF FLOWERS
MÜNZE
ÖSTERREICH
THINKING
OF YOU
THE VIOLET coin
Learn more at muenzeoesterreich.at

オーストリア造幣局



親愛なる日本の皆さまへ

私はアンドレア・ラングと申します。オーストリア造幣局のマーケティングおよび営業部門理事を務めております。

初めに、オーストリア造幣局を今年の名誉ゲストとして迎えてくださった、東京国際コインコンベンションの主催者である日本貨幣商協同組合の皆様に、心より感謝申し上げます。このような名高いイベントに参加できることは私たちにとって名誉なことであり、長年にわたる関係を継続できることを光栄に思います。

また、過去 30 年間にわたる変わらぬご支援をいただいている日本の最も信頼できるパートナーである泰星コイン株式会社に、深く感謝申し上げます。この協力関係は、互いへの　尊敬と卓越性に対する共通した情熱に基づいて築かれており、今後も共に多くの成功を収めていけることを楽しみにしています。

オーストリアと日本は、どちらも高い職人技と精度の伝統を誇り、常に最高の品質を目指しています。コインの製造やその他の芸術性においても、両国は細部に至るまで完璧を追求し、そのことに大きな誇りを抱いています。私たちの製品は、最高の品質を目指しており、日本のコレクターの皆様がそれを小さな芸術品として認識していただけることを心から願っています。

特にここでご紹介させていただきたいコレクションの一つは、「花言葉」シリーズです。日本では、花言葉が感情を言葉にせずに表現できる伝統的な方法として親しまれています。この美しい概念は、私たちのシリーズにも反映されており、７つのよく知られた花々の意味や伝説、特性、用途を表現しています。

これらのコインの背後にある芸術的および技術的なプロセスは、その伝えたいメッセージと同様に素晴らしいものです。デザインはイラストや絵ではなく、実際の花を元にしており、自然な美しさを保つために独自の技術で丁寧に育て、押し花にしています。

伝統と職人技、そして革新が融合したこの作品を、皆様と共有できることを光栄に思います。ここまでお時間をいただき、ありがとうございました。どうぞ展示をお楽しみください。

ありがとうございました。

Andrea Lang

アンドレア・ラング

マーケティング・販売担当理事
オーストリア造幣局

Real Casa de la Moneda
Fábrica Nacional
de Moneda y Timbre

COLLECTOR COINS
SILVER



200th ANNIV. TREASURY (2024)

Silver 925
Weight: 27 g



425th ANNIVERSARY OF VELÁZQUEZ (2024)

Silver 999
Weight: 31.41 g



13th IBERO-AMERICAN SERIES (SPANISH COIN)

Silver 925
Weight: 13.50 g



SPANISH OLYMPIC TEAM 2026

Silver 925
Weight: 27 g



10th ANNIVERSARY OF THE PROCLAMATION OF FELIPE VI (2024)

Silver 925
Weight: 27 g

The Singapore Mint
www.singaporemint.com

EXCELLENCE IN
Craftmanship







Official Distributor

第36回東京国際コイン・コンヴェンション 特別展示品 TICC

「激動の貨幣 昭和 100 年 ～お金の移り変わり～」と銘打った特別展示です。
造幣局造幣博物館の名品はもとより、全国の収集家のコレクションが一堂に集まります。
国内最大の東京国際コイン・コンヴェンションならではの豪華な展示となりました。

1. 旧 20 円金貨 明治 25 年銘の展示

2025 年大阪・関西万博の開催に合わせて、1893 年シカゴ万博用に製造された旧 20 円金貨 明治 25 年銘を特別展示いたします。製造数わずか 2 枚という超稀少品ですので是非この機会にご覧ください。展示品は造幣さいたま博物館所蔵品です。さらに、同万博用に製造された竜 5 銭銀貨 明治 25 年銘も並べて展示致します。展示品は収集家のコレクションです。

2. 激動の時代「昭和」の歴史的な貨幣の展示

裏白 50 円札（見本券）・裏白 200 円札（見本券）、昭和年号の新 20 円金貨、伝単 10 円（敵国の戦意喪失を目的として配布する宣伝謀略用のビラ）、未発行 1 銭陶貨・5 銭陶貨・10 銭陶貨、不発行 10 円洋銀貨等を展示いたします。金融恐慌、金本位制、第 2 次世界大戦、朝鮮戦争など、いずれも世界史上の大きな出来事と関連のある昭和時代の貨幣です。展示品は全国の収集家のコレクションです。

第36回東京国際コイン・コンヴェンション 企画品 TICC

今年も**「東京国際コイン・コンヴェンション貨幣セット」の販売はございません。**

日本現行・記念コインチェックリスト

ご来場のお客様に
無料進呈いたします！



「日本貨幣カタログ」の分類に合わせて作成したもので、図版を豊富に記載し、非常にわかりやすくチェックできるようになっています。

※写真は参考です、実際のデザインとは異なる場合がございます。

こどもスタンプラリー ※先着 250 名様

スマホで各国造幣局を廻って、二次元コードを集めると、プレゼントがもらえます。以下の2日間で開催いたします。（※参加にはスマートフォンが必要です。）

4 月 26 日（土）13 ～ 17 時
27 日（日）10 ～ 17 時



入場者全員の中から抽選で豪華賞品が当たります

期間中、入場者全員の中から抽選で豪華賞品をプレゼント！応募用紙は、入場用紙またはダイレクトメールに同封されている「会場へお持ちください」です。

●TICC 金賞　2 名様



旧 1 円金貨　明治 4 年 日本貨幣商協同組合鑑定書付

●TICC 銀賞　3 名様（各 1 点）



国立公園制度 100 周年記念貨幣

●TICC 銅賞　10 名様



第 36 回 TICC 記念クオカード

※抽選結果は後日、発送をもってかえさせて頂きます。

※画像はイメージです。

チャリティーくじ TICC

今年もチャリティーくじを行います。各国造幣局、出店ディーラーよりたくさんの賞品を提供していただきました。東京国際コイン・コンヴェンションは少しでも日本赤十字社が行う赤十字活動のお役に立てるよう、チャリティーくじの売上げは全額、日本赤十字社へ寄付させていただきます。ご来場の皆様には是非ともご協力をお願い申し上げます。

クラウンルームにて
チャリティーくじを開催中です！

【開催時間】4 月 26 日（土）　12：00 ～
27 日（日）　11：00 ～
28 日（月）　11：00 ～

※賞品がなくなり次第終了となります。

第36回東京国際コイン・コンヴェンション 特別販売品 TICC

※写真はイメージです。

天保小判金

天保８年（1837）から発行され裏面に「保」字が極印されています。
幕府から格別に鮮明に仕立てるように発注された、非常に美しい小判です。座人印と棟梁印の組み合わせが豊富で、特に七福小判は縁起がいい組み合わせとして人気があります。
美品以上のものに日本貨幣商協同組合推奨プレートをお付けしております。





推奨プレート付

美品
日本貨幣商協同組合鑑定書付
210,000円（税込）

旧５円金貨（縮小）

明治新政府により発行された金貨です。
英国で絶賛された加納夏雄によるデザインは、表面には天皇の象徴である竜図、裏面には中央に日章、左右に日月を描いた錦の御旗、上下に菊と桐の紋を置いた華やかなものとなっています。
直径が縮小された明治５年以降の旧５円金貨（縮小）極美品以上のものに日本貨幣商協同組合推奨プレートをお付けしております。





推奨プレート付

極美品
日本貨幣商協同組合鑑定書付
280,000円（税込）

昭和 64 年４点セット（500 円・10 円・５円・１円）

昭和の最終年号である昭和 64 年はわずか７日間であったため、平成元年銘の極印が準備できるまで昭和 64 年銘の貨幣が製造されましたが、３月まで製造予定の無かった 100 円と 50 円は発行されず、500 円・10 円・５円・１円の４種のみとなりました。これら４種の未使用品をセットにしてご提供いたします。



未使用 **1,500**円（税込）

聖徳太子千円札

昭和 25 年（1950）に発行され、表面には聖徳太子、裏面には法隆寺夢殿が描かれています。日本の紙幣の顔とも言える聖徳太子は戦前戦後合わせて７回も採用されました。
未使用品を特別価格にてご提供いたします。



未使用
6,000円（税込）

お子様限定 500 円お楽しみ袋 TICC

４月27日（日）限定で**中学生以下**のお客様にお楽しみ袋をご提供いたします。
中に何が入っているかは開けてからのお楽しみです。

500円（税込）

NGC PMG ASG CGC



大切なコイン、紙幣、切手、トレカは
専門家にお任せください。

コインの
真贋鑑定、状態評価、
ホルダー封入
NGCcoin.hk

紙幣の
真贋鑑定、状態評価、
ホルダー封入
PMGnotes.hk

切手の
真贋鑑定、状態評価、
ホルダー封入
ASGstamps.hk

トレカ
真贋鑑定、状態評価、
ホルダー封入
CGCcards.hk

CERTIFIED
COLLECTIBLES
GROUP

お問い合わせはCCG香港支社へ。
+852 2115 3639
Service@CollectiblesGroup.hk

CCG Hong Kong

MDC
MONACO

買取・販売・鑑定のモネ・ド・コレクション

第16回オークション 2025年6月3日(火)・4日(水)・5日(木) 開催



biddr NGC Numismatic Guaranty Corporation AUTHORIZED DEALER PCGS AUTHORIZED DEALER CERTIFIED SABID.COM AUCTION HOUSE

お問い合わせはこちらまで

所在地： 27 avenue de la Costa 98000 Monaco Monte-Carlo Tel: +377 93 25 00 42 / Fax: +377 97 77 23 13

Email: info@mdc.mc Site: www.mdc.mc

国立公園制度100周年記念貨幣

自然公園法の前身である国立公園法が1931年に制定されてから2031年（令和13年）に100周年を迎えます。
これを記念する貨幣が、国立公園ごとの図柄により、令和６年から令和13年まで順次発行されます。



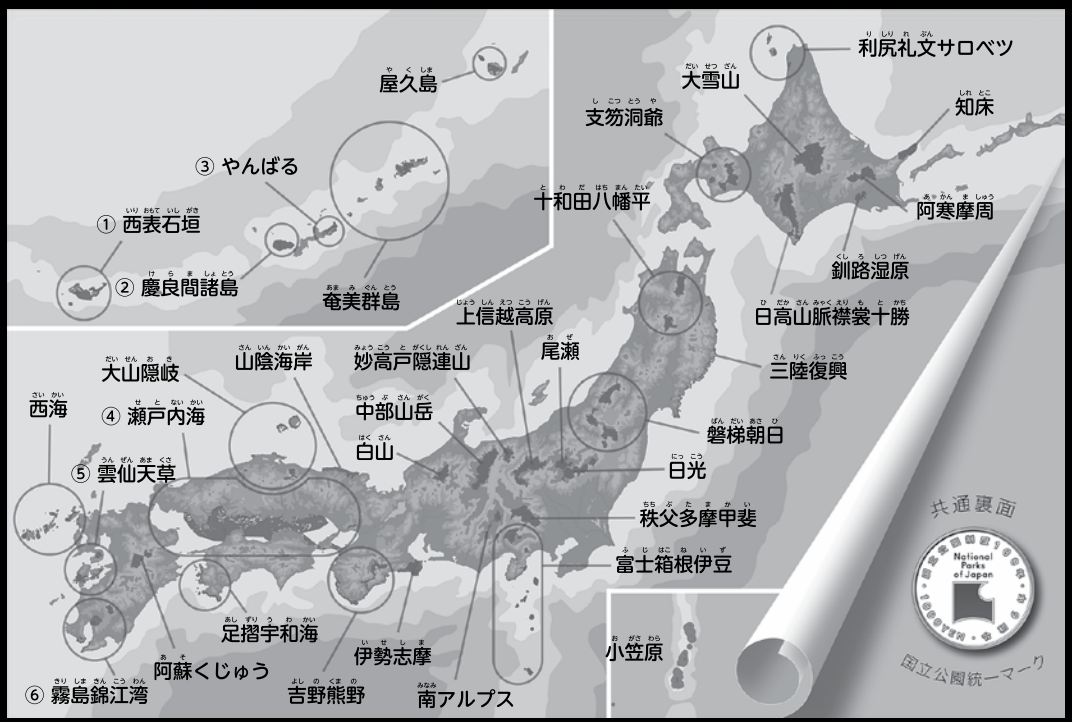
①西表石垣国立公園



②慶良間諸島国立公園



③やんばる国立公園





④瀬戸内海国立公園



⑤雲仙天草国立公園



⑥霧島錦江湾国立公園

造幣局は会場での貨幣セット等の販売は行いません。

詳細は造幣局ホームページをご覧ください（URL）https://www.mint.go.jp/

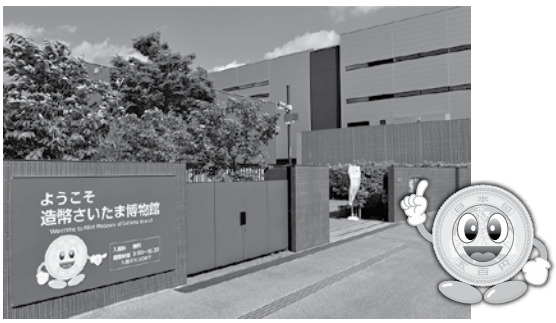
独立行政法人
造幣局

造幣さいたま博物館（さいたま支局）

展示室のほか、平日には工場の自由見学もできます。
館内にミントショップもあります。

開館時間：午前**9**時～午後**4**時**30**分（入館は午後4時まで）
休　館　日：水曜日、年末年始等
お問合せ先：さいたま市大宮区北袋町1-190-22
Tel.**048-645-5899**（月～金曜日（祝日を除く））
Tel.**048-645-5990**（土・日曜日、祝日）

お近くにお立ち寄りの際は、ぜひお越しください！



独立行政法人 国立印刷局

特別展示

「新しいお札再発見」

新しいお札が発行され、世の中に多く出回るようになりました。

新旧のお札が同時に流通している今こそ、お札を手に取ってじっくり“観る”絶好の機会です。新しいお札に採用された新たな技術やユニバーサルデザインを確認するほか、新旧のお札を見比べて、新しいお札の特徴を見つけてみてはいかがでしょうか。

本展では、新しいお札の基本的な仕様に加え、海外のお札に採用されている技術やユニバーサルデザインの一端をご紹介します。



日本のお札の斜線による識別マーク
日本銀行券 F10000 円　令和 6（2024）年



外国のお札の斜線による識別マーク
香港（チャーター ド銀行）500 ドル
2018 年

ちょっと足を延ばして お札と切手の博物館



東京都北区王子 1-6-1　TEL 03-5390-5194
開館時間　9：30 ～ 17：00
休 館 日　月曜日（祝日の場合は翌平日）
アクセス　ＪＲ京浜東北線 王子駅下車（中央口）徒歩 3 分
東京メトロ南北線 王子駅下車（1 番出口）徒歩 3 分
都電荒川線（東京さくらトラム）王子駅前下車 徒歩 3 分

＊駐車場はありません
https://www.npb.go.jp/museum/ index.html

春の凹版（おうはん）印刷体験イベント

4/25（金）～ 5/6（火）

お札に使われている印刷技術『凹版印刷』が体験できます。

※期間等を変更する場合があります。
詳しくはホームページをご確認ください。





お札と切手の博物館　Banknote and Postage Stamp Museum

ご入場までの流れ

会場へのご入場には、ご住所、お名前の記入が必須となっておりますので、必ず受け付けにてご入場のご登録をお願いいたします。

ご来場時には、あらかじめご住所・お名前等をご記入済みの「会場へお持ちください」用紙、または入場用紙（ホームページよりダウンロード）を必ずお持ちください。

※入場用紙をお持ちでない方は日本貨幣商協同組合ホームページ（www.jnda.or.jp）よりダウンロードの上お持ちください。

目次

大会委員長挨拶 …… 3
展示品・企画品 …… 8
特別販売品 …… 9
会場案内 …… 14
スケジュール …… 15
ブース案内図 …… 16
参加社名 …… 17
昭和 100 年の貨幣史と日本経済…… 岩橋 勝 … 21
F 券 3 券種に採用された「高精細すかし」の技術は世界一
　日本のすかしの歴史と現状、世界のすかしとの比較研究 … 植村 峻 … 33

コンヴェンション会場と交通機関 TICC

会場

ロイヤルパークホテル　ROYAL PARK HOTEL

3F　ロイヤルホール　　Royal Hall 3rd Floor

〒103-8520 東京都中央区日本橋蠣殻町 2－1－1　TEL 03－3667－1111



今回も、東京の中心部日本橋・蠣殻町にあるロイヤルパークホテルにて開催されます。国際ホテルとして高いグレードを誇るロイヤルパークホテルの 3 階「ロイヤルホール」と「ホワイエ」にて国立印刷局をはじめ、海外の造幣局の展示や、国内・海外の参加業者の展示即売会が繰りひろげられます。

歴史的にもこの蠣殻町は、徳川幕府が享和元年（1801 年）銀貨鋳造所を銀座 2 丁目から蠣殻町に移転させ、明治 2 年に造幣局ができるまでの 68 年間、銀貨の鋳造を行ったゆかりの地でもあります。

- 東京駅より 2km（車で 10 分）。
- 地下鉄半蔵門線、東武伊勢崎線「水天宮前駅」に直結。
- 地下鉄日比谷線、都営浅草線「人形町駅」より徒歩 5 分。
- 東京シティー・エアターミナルに隣接。
- 車で成田空港へ 60 分、羽田空港へ 30 分。

The 36th TOKYO INTERNATIONAL COIN CONVENTION

コイン・コンヴェンションとイベントの日程

ロイヤルパークホテル 3 階
（ロイヤルホール）

4月26日(土)

9:50		開会式	Opening Ceremony	
10:30		一般開場	Exhibit Area opens to Public	
12:00～	クラウンルーム	チャリティーくじ		Crown room
13:00～17:00		こどもスタンプラリー		
14:00～15:30	クラウンルーム	講演（岩橋 勝先生）	Lecture（Dr.Iwahashi）	Crown room
16:00～17:30	クラウンルーム	セミナー（日本貨幣協会）	Seminar	Crown room
18:00		閉　場	Exhibit Area closes	

4月27日(日)

10:00		一般開場	Exhibit Area opens to Public	
10:00～	クラウンルーム	日本赤十字社　世界のコイン配布（チャリティー）		Crown room
10:00～17:00		こどもスタンプラリー		
11:00～	クラウンルーム	チャリティーくじ		Crown room
13:00～14:30	クラウンルーム	講演（植村 峻氏）	Lecture（Mr.Uemura）	Crown room
15:00～16:30	クラウンルームB	セミナー（日本近代銀貨研究会）	Seminar	Crown roomB
16:00～17:30	クラウンルームA	セミナー（外国コイン研究会）	Seminar	Crown roomA
18:00		閉　場	Exhibit Area closes	

4月28日(月)

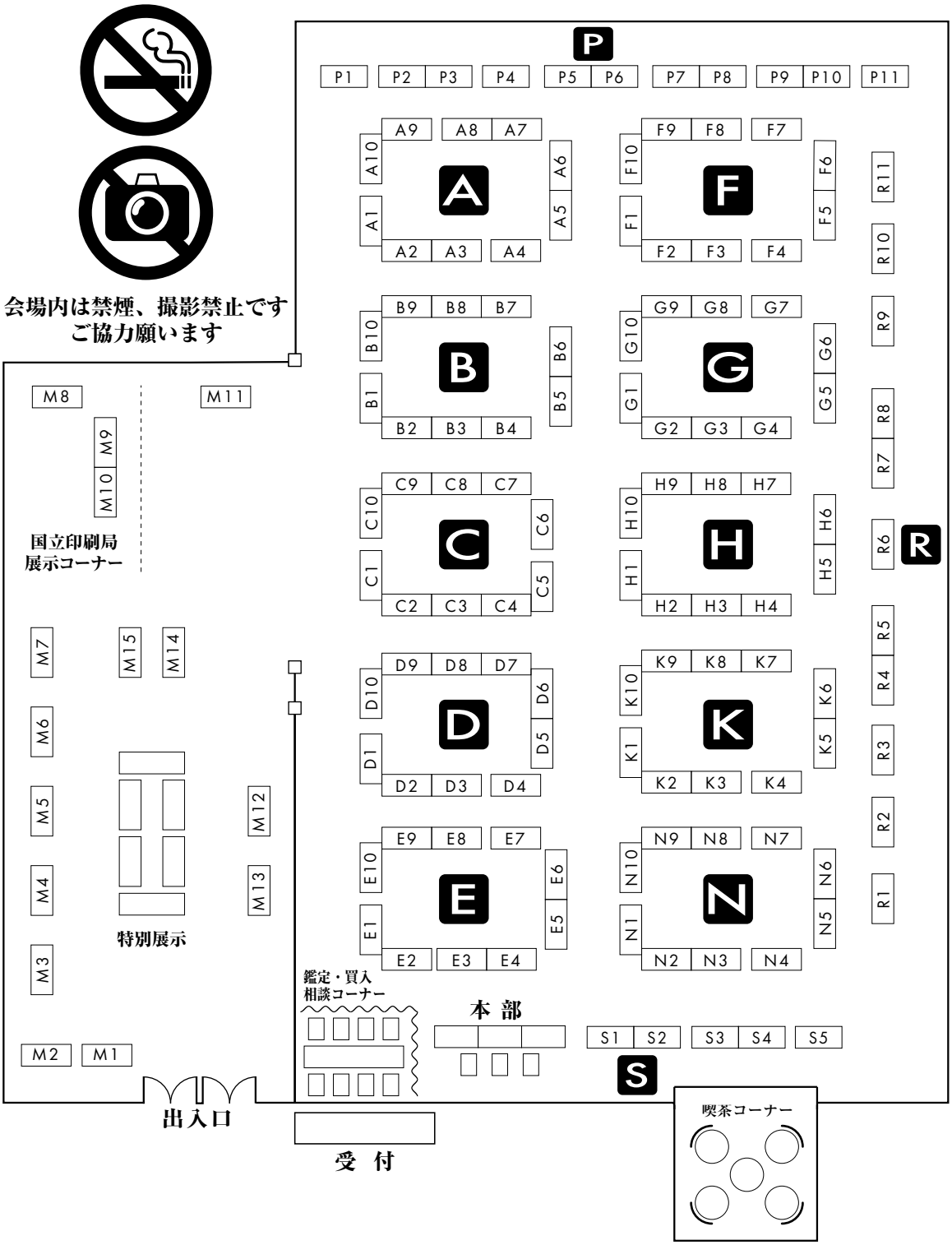
10:00		一般開場	Exhibit Area opens to Public	
11:00～	クラウンルーム	チャリティーくじ		Crown room
17:00		閉　場	Exhibit Area closes	

実行委員スタッフ

●大会委員長　竹内　祐司　Yuji Takeuchi
●実行委員長　髙馬　大三　Daizo Koma
●実行委員（順不同）
林　和実　Kazumi Hayashi
寺田　実　Minoru Terada
矢澤 幸一郎　Koichiro Yazawa
竹内　潤　Jun Takeuchi
野﨑　祐一　Yuichi Nozaki
岡田 啓示郎　Keijiro Okada
屋代　拓巳　Hiroki Yashiro

第 36 回東京国際コイン・コンヴェンション

出展業者のブース案内図 /EXHIBIT AREA INFORMATION



第36回東京国際コイン・コンヴェンション 参加社名 TICC

◎造幣局関係

独立行政法人 造幣局	Japan Mint	M 1・2
独立行政法人 国立印刷局	National Printing Bureau, Japan	M 8～10
英国王立造幣局	The Royal Mint	M13
フランス国立造幣局	Monnaie de Paris	M 4
中国金幣集団有限公司	China Gold Coin Group Co., Ltd.	M 5
王立スペイン造幣局	Royal Spanish Mint	M 6
シンガポール造幣局	The Singapore Mint	M12
オーストリア造幣局	Austrian Mint	M 3
タイ財務省	The Treasury Department,Thailand	M 7

◎海外参加社

シージービー・ヌミスマティクス・パリ (フランス)	CGB Numismatics Paris	E 7
チャンピオン・オークション (香港)	Champion Auction	P 1
コインズ・アンド・アンシエント・アート (ドイツ)	Coins and Ancient Art	F 7
メゾン・ガドリー・ヌミスマティック (モナコ)	Maison Gadoury Numismatique	R10
キュンカー・オークション (ドイツ)	Fritz Rudolf Kuenker GmbH & Co. KG	R 6
ヘリテージ・オークションズ・ジャパン	Heritage Auctions Japan	G 7
ナイトブリッジコインズ／セント・ジェームズ・オークションズ (英国)	Knightsbridge Coins Ltd / St. James's Auctions	R11
ニューセンチュリー・コインズアンドノート (香港)	New Century Coins & Notes	A 4
エヌジーシー・ピーエムジー・エーエスジー (香港)	NGC-PMG-ASG	M11
ピー・シー・ジー・エス (香港)	PCGS	M15
シュールマン (オランダ)	Schulman B.V.	N 4
ミントコンパニエ (スウェーデン)	Myntkompaniet	N 4
シンコナ (スイス)	Sincona AG	R 9
スピンク (香港)	Spink	R 2
スタックスバウワーズ・アンド・ポンテリオ (香港)	Stack's Bowers and Ponterio, Ltd.	K 4
スティーブン・アルバム・レア・コインズ (米国)	Stephen Album Rare Coins	N 7
エムディーシー・モネ・ド・コレクション (モナコ)	MDC Monnaies de Collection	P 4
トリゴメトリック・エス・ディー・エヌ・ビー・エーチ・ディー・アンド・トリゴメトリック・リミテッド (マレーシア)	TRIGOMETRIC SDN. BHD. & TRIGOMETRIC LIMITED	R 3
ソブリン・レアリティーズ (英国)	Sovereign Rarities Ltd	C 6
月刊コイン／コインズウィークリー (ドイツ)	Gekkancoins/Coinsweekly	S 5
アンティクア・トレーディング (スイス)	Antiqua Trading AG	F 4
ユーロセリー・コレクティング (タイ)	Eur-seree Collecting Co., Ltd.	R 1
ヌミスマティカ・アルス・クラシカ (英国)	Numismatica Ars Classica NAC AG	D 4

◎国内参加社

■ 日本貨幣商協同組合加盟店

アカデミー商会	Academy Shokai, Co. Ltd.	B 1～4
アベノスタンプコイン社	Abeno Stamp Coin Co.	F 5・6
アローインターナショナル	Arrow International Co. Ltd.	N 5・6
アンティーリンク	Anty Link Inc.	C 7～10
ヴァンガードコイン	Vanguard Coin	S 1・2
薄井美術店	Usui Bijyutsu ten	P 5・6
駅前コイン	Ekimae Coin Co.	G 8～10
カードショップトレジャー	Card Shop Treasure	E 3・4
銀座コイン	Ginza Coins Co.	B 7～10
銀座ステラ	Ginza Stella Co. Ltd.	G 5・6
ケネディ・スタンプ・クラブ	Kennedy Stamp Club Inc.	N 1～3
コレクションハウス	Collection House	D 1～3
収集ワールド	Collection World	E 1・2
城南堂古美術店	Jhonando Kobijyutsu Ten	A 9・10
新橋スタンプ商会	Shinbashi Stamp Co. Ltd.	K 7～10
杉本梁江堂	Sugimoto Ryokodo	F 1～3
世界コイン	World Coins	F 8～10
セキグチ	Sekiguchi	H 1～4
世田谷スタンプコイン	Setagaya Stamp Coin	P 7・8
泰星コイン	Taisei Coins Corp.	D 5～10
大日スタンプ・コイン	Dainichi Stamp Coin	P 2・3
ダルマ	Daruma International Galleries	H 7～10
寺島コイン	Terashima Coin	B 5・6
野崎コイン	Nozaki Coin	K 1～3
八王子ムササビコイン	Hachioji Musasabi Coin	P 9・10
ファミリースタンプ	Family Stamp	H 5・6
フクオ	Fukuo	A 7・8
フクオスタンプ社	Fukuo Stamp Co.	E 5・6
松浦古銭堂	Orient Coin Center	S 3・4
ミントミントオークション	Mint Mint Auction	G 1～4
モリシタ 時遊屋	Morishita Jiyuya	N 8～10
大和文庫	Yamato Bunko	R 7・8
ユキオスタンプ	Yukio Stamp Co. Ltd.	E 8～10
ロイヤルコイン	Royal Coins Co.	R 4・5
ワールドコインズ・ジャパン	World Coins Japan	C 1～5
ワタナベコイン	Watanabe Coin	A 1～3
日本貨幣商協同組合	Japan Numismatic Dealers Association	本 部

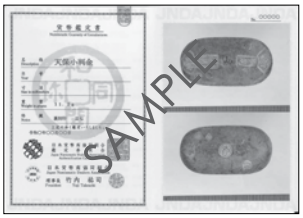
■ その他国内参加社

ネットジャパン	Net Japan Co. Ltd.	A 5・6
和楽屋	Warakuya	K 5・6
公博 GBCA	GBCA	P11
書信館出版	Shoshinkan Publication Co. Ltd.	M14

大切なコレクションに**鑑定書**をつけませんか？

鑑定を依頼する

日本貨幣商協同組合には、皆様のお手持ちの貨幣に鑑定書を発行する鑑定委員会がございます。
この鑑定書は、収集用貨幣に関する**我が国で唯一の公式な鑑定書**です。
貨幣の正しい評価やコレクション充実の為、また次世代に受け継ぐ為に大切なコレクションに鑑定書をお付けになる事をお薦めしております。
鑑定書発行の受付は全国の組合加盟店でご相談下さい。



鑑定書見本
（日本貨幣商協同組合オリジナルケース入）

鑑定書が発行されるまでの流れ

鑑定書発行を組合加盟店へ依頼する
まずはお近くの加盟店へお問い合わせください。

鑑定する貨幣を預ける
お預かりした貨幣は、日本貨幣商協同組合へ届けられます。

鑑定委員会にて貨幣を鑑定
貨幣のスペシャリストが集まる鑑定委員会があなたの貨幣を鑑定いたします。

貨幣の真贋、評価を鑑定委員会で決定
国内で最も信頼度の高い鑑定基準によってあらゆる角度から検証。真贋、評価を決定します。

鑑定書の発行
鑑定委員会により、真正品と評価された場合、鑑定書が発行されます。この鑑定書は、収集用貨幣に関する我が国で唯一の公式な鑑定書となります。

お客さまの元へ鑑定した貨幣を返却、鑑定書のお渡し
鑑定書の発行により、あなたの貨幣の価値が公式に証明されました。貨幣と合わせて、どうぞ大切に保管してください。

※鑑定書発行にかかるお時間は、２週間～２ヶ月となります。その間、鑑定する貨幣はお預かりさせていただきます。

鑑定書を発行出来ない貨幣の一例

・日本で発行されていない貨幣（外国貨幣など）
・現在の法定通貨として通用している貨幣（現行貨幣）＜例：記念コイン、通常の流通貨幣、廃貨になっていない昔のお金など＞
・現状の状態が著しく劣化している貨幣や、加工してあるもの
・修正品など

鑑定書料金表

	鑑定品の価格（時価）		鑑定料（税込）	デジタル鑑定書付鑑定料（税込）
1.	10万円未満	（10万円を含まず、以下は同じ）	11,000円	16,500円
2.	10万円以上	50万円未満	16,500円	22,000円
3.	50万円以上	100万円未満	22,000円	27,500円
4.	100万円以上	200万円未満	33,000円	38,500円
5.	200万円以上	500万円未満	55,000円	60,500円
6.	500万円以上	1,000万円未満	110,000円	115,500円
7.	1,000万円以上		165,000円	170,500円

※なお、にせ物、鑑定不能品については申し込み手数料として１品につき金8,800円（税込）を申し受けます。
▶鑑定のご相談、お申込みは、全国の組合加盟店を通してお願いします。

日本初、ブロックチェーン技術による貨幣の「デジタル鑑定書（NFT ）」

Japan’s First “Digital Authentication（NFT Certification)”

日本では 2021 年度の流行語大賞にノミネートされた「NFT」という単語ですが、海外では大賞を受賞いたしました。世界的に非常に注目度が高い技術です。

デジタルでありながら「コピーがつくれない」、言いかえれば「偽造ができない」データ、それが NFT（非代替性トークン）です。

この技術を用いて、日本貨幣商協同組合は 2022 年 4 月からデジタル鑑定書の発行に踏み切りました。

デジタル鑑定書は、一見すると普通のプラスチックのカードにしか見えません。ですがスマホやタブレットにかざすことで、証明すべき商品の画像、鑑定書データなどを見ることができます。

デジタル鑑定書は、商品の偽造防止、真贋判定に大きく役立ちます。環境問題も併せて、デジタル化の流れは急速に進んでいます。

日本貨幣商協同組合は、業界に対し責任ある立場から、鑑定書のデジタル化への先鞭をつけることにいたしました。

日本貨幣商協同組合は、持続可能な開発目標（SDGs）の向上に向けた取組みの一環として、これを大きな一歩と考えております。

The word "NFT" was nominated for the 2021 buzzword award in Japan, but it won the grand prize overseas. It is a technology that has received a great deal of attention worldwide. NFT (Non-Fungible Token) is digital data that "cannot be copied"; in other words, it "cannot be forged".

Using this technology, the Japan Numismatic Dealers Association began issuing digital authentication in April 2022. At first glance, a digital certificate looks like an ordinary plastic card. However, by holding it over your smartphone or tablet, you can see the image of the product to be certified, the certificate data, etc.

The digital certificate is beneficial for preventing counterfeiting of products and determining authenticity. Along with environmental issues, the trend of digitalization is advancing rapidly.

The Japan Numismatic Dealers Association has decided to take the initiative in digitizing the certificate from a responsible position for the industry. The association considers the initiative a significant step in its efforts to attain the Sustainable Development Goals (SDGs) .

■ デジタル鑑定書（NFT）
鑑定委員会による我が国唯一の公式な鑑定書を発行

■ IC タグ付きブロックチェーン「デジタル鑑定書」
お手元のカードにスマホをかざすだけで、商品の鑑定書ページが表示され、いつでも証明内容を確認することができます。



TICC2025　特別講演　ロイヤルパークホテル3階クラウンルーム TICC

4月26日（土）
14:00~15:30

「昭和100年の貨幣史と日本経済 」

松山大学名誉教授　**岩橋　勝**（いわはし　まさる）



【略歴】
1941年生まれ。1967年大阪大学大学院経済学研究科中退、1983年経済学博士（大阪大学）。大阪大学経済学部助手を経て、1969年松山商科大学（現、松山大学）赴任、教授を経て2012年退職。この間、社会経済史学会理事、貨幣史研究会代表などを歴任。2023年度日本学士院賞受賞。
【主要著作】
『近世日本物価史の研究』（大原新生社、1981年）、『日本のお金の歴史　江戸時代』（ゆまに書房、2015年）、『近世貨幣と経済発展』（名古屋大学出版会、2019年、第18回徳川賞）、編著に『貨幣の統合と多様性のダイナミズム』（晃洋書房、2021年）、共著に『関西経済とアジア』（関西大学出版部、2025年）など多数。

4月27日（日）
13:00~14:30

「F券3券種に採用された「高精細すかし」の技術は世界一 日本のすかしの歴史と現状、世界のすかしとの比較研究」

紙幣研究家　**植村　峻**（うえむら　たかし）



【略歴】
昭和10年生まれ、昭和33年都立大学卒業、大蔵省印刷局勤務、平成元年大蔵省印刷局滝野川工場長、平成3年印刷局業務部長、平成6年退職、平成10年（財）印刷朝陽会専務理事、平成19年（財）印刷朝陽会事務局長・調査研究部長などを歴任。
【主要著書】
「世界の銀行券」（印刷局朝陽会、1987年）、「日本紙幣の凹版彫刻者たち」（印刷朝陽会、2010年）、「お札のはなし」（印刷朝陽会、2015年）、「日本切手の凹版彫刻者たち」（日本郵趣協会、2015年）、「紙幣肖像の近現代史」（吉川弘文館、2015年）、「日本紙幣の肖像やデザインの謎」（日本貨幣商協同組合、2019年）、「贋札の世界史」（角川書店、2020年）など多数

収集家団体の有志によるセミナー　ロイヤルパークホテル3階クラウンルーム TICC

4月26日（土）
16:00~17:30

「だいたいわかる古文銭」　日本貨幣協会

【内容】 古文銭の収集をこれからされる方向けに、経験からなかなか伝えられないような文献などからは解りづらい点などを中心にお話をいたします。

4月27日（日）
15:00~16:30

「よろず相談会40（近代貨幣関連のなんでも相談）」　日本近代銀貨研究会

【内容】 明治初期の旧円銀、貿易銀についての講演と展示。
講演題目「明治政府が威信を賭けた日本の貿易用銀貨(旧円銀,貿易銀)について」

4月27日（日）
16:00~17:30

「見て楽しむアフリカと英国のコイン」　外国コイン研究会

【内容】 植民地時代を含むアフリカのコインをメインテーマとし、サブテーマとして英国コインをとりあげ、収集の楽しみ方を解説します。

日本貨幣商協同組合 HP にて公開中！

世界の紙幣とコインの最新ニュース

編集：紙幣関係 植村峻

日本赤十字社の世界のコインの配布は、
27日（日）の1日のみとさせていただきます。
26日（土）・28日（月）は、コインの配布は行いません。

配布のスケジュール　**27日（日）　10:00 ～クラウンルーム**

※コインの配布は、無くなり次第終了となります。

昭和 100 年の貨幣史と日本経済

（松山大学名誉教授） 岩橋　勝

はじめに

昨年は 20 年ぶりに新しいお札が一斉に登場しました。馴れ親しんできた福沢諭吉ほか二人の方々は次第にフェイドアウトしていきます。明治維新後まもなく発行された政府紙幣「明治通宝」以降、国内はもとより世界経済の変動への対応もあって、じつに多くの貨幣が発行されてきました。それらのうちで、福沢 1 万円札は昭和 59（1984）年に最初の 1 万円札（聖徳太子、昭 33 ～　写真 1）に代わって発行されて以来 40 年にわたりお札の代名詞としての地位を占め、これは同じ額面・人物での流通・使用札として、国内では最長記録となります。



［30% 縮小図 ］
写真 1　最初の1万円札（昭和 33 年）

このようにお札の最高額面が 70 年近くも 1 万円札のままで推移していることは、それなりに日本経済が安定的に発展してきた反映でもあります。逆にそれ以前の貨幣の推移を見ると発行種類のみでなく、額面やお札の紙質もおおきく変転してきました。貨幣素材調達難と未曽有のインフレーションに見舞われたためで、それだけ国内経済が激動してきたわけです。このため昭和 100 年貨幣史の特徴を分析するには、戦後復興を開始した 1945 年を転換点として 2 つの時期に区分することが有効です。前期は明治維新期以降、わが国が近代国家として欧米にキャッチアップする過程で始まり、最終的に軍国化の途をたどった結果、悲惨で破滅的な終戦を迎えるまでの時期です。昭和という時代は第一次大戦後に生じた列強諸国への対応と国内不況への対応に奔走させられる中で始まっていて、特徴あるひとつの時代の開始期とは言いがたいでしょう。そして後期は、わずか数年余であわただしく戦後復興体制を開始し、高度経済成長の基礎を確立してから現代経済へと至る過程です。国民生活は急速にボトムアップし、バブル経済を体験した後に長期デフレ期に突入し、それからの脱却に苦闘する時期です。

また一方でお金をめぐる環境は世界的に激変しつつあり、それはキャッシュレス化（電子マネー）の動きです。帳簿による掛け取引や商業手形による、現金を使用しない決済はとくに卸売流通段階で前近代から行われていましたが、昭和に入り企業間ではその度合いは益々進行しました。こうした動向は平成期に入ると小口の消費者段階でも拡散し、IT 技術の普及に伴い高度化しつつあります。とくに通販利用の拡大やポイント魅力によるクレジットカードの普及に加えて、Suica や Edy、PayPay などキャッシュレス決済も顕著になっています。

昭和貨幣史のスタートは紙幣の価値安定にまだ苦闘していた時期ですが、その後の管理通貨制を経て、今日ではキャッシュレス化経済が主流になりつつあって、貨幣の実体が見えなくなる気配もあります。今後貨幣の中核になるかもしれないビットコインのような暗号資産（仮想通貨とも）のあり方を考えるうえでも、長期的に近現代貨幣の変転を観察する意義は大きいでしょう。

1　昭和 100 年貨幣前史

貨幣はなぜ貨幣になれたのでしょうか。経済史の講義で貨幣をとりあげる際、まずはその基本的な機能から説明されています。その発生は原始時代の大きな石であったり、農業社会の稲であったり、平安時代の布帛であったりと、今必要でないにしてもいずれ誰もが生活するために必要な物品でした。人類社会の始まりにおいて必要なものはすべて自ら調達しなければなりませんから、その時代に貨幣は不要でした。一方、どの時代でもあればよいが、自身ではなかなか調達できないものがあります。多くはその取得をガマンするほかなかったでしょう。転機は自給物品調達に余裕ができてそれらが手許に溜まるようになった時期です。自身では得られないものを持っている人と、自身の余剰物と交換ができれば取得できるからです。

問題は欲しいものを持っている相手が、こちらの保有している物品を受け取ってくれるかということです。一部の相手はそれを必要としてくれるでしょうが、多くは別の物品でなければ交換してくれない場合が多いでしょう。

その際、より多くの相手が交換してくれる日常不可欠な食品や衣料などの物品であれば交換手段としては都合がよい。しかし、それらは日持ちがしなかったり、嗜好に合わなかったりというような不便があり、最終的に一般的交換手段として金属、しかもそれらのうちでも金・銀のような貴金属である程度の必要量が確保できる物品が「貨幣」として、世界で広く使用されるようになったのです。

金・銀が貨幣として使用される時代は紀元前から確認できますが、最古の記録は BC24 世紀のメソポタミアの銀使用まで遡れます。わが国でもいわゆる皇朝十二銭が流通する以前、7 世紀後半に銀地金（無文銀銭）流通が確認でき、これらは物々交換や物品貨幣を介した取引を経由した後の状況でしょう。ただ当時は銀銭や金地金を使用する階層や地域はきわめて限定されていたと思われます。いずれにしろこの頃に始まったわが国の金属貨幣は、その後金本位制を廃止し、実質的に管理通貨制に移行した昭和 6（1931）年まで、じつに 1200 年以上にわたって基準貨幣であったわけです。逆言すれば、昭和期の貨幣動向は長期的にみて大きな転換点に差し掛かっていたということになります。

では昭和初年に転換せざるを得なかった管理通貨制とは貨幣史のうえでどのような意義を持っていたのでしょうか。当時の状況はより詳しく後述しますが、日本貨幣史では明治維新期の「円の誕生」は、それまでの三貨による多種単位の貨幣流通状況から単一単位に統一できた意義はきわめて大きいと言えます。さらに近世において全国支配権をもつ幕府は藩札や私札発行は認めても、自身が紙幣を発行することはありませんでしたが、明治新政府は太政官札を経て、政府紙幣である「明治通宝」（写真 2）を大量に発行します。新政府の貨幣としては、これまで明治 4（1871）年新貨条例に基づいて発行された本位貨幣である金貨や銀貨の方が注目され、翌年以降に発行されたこの紙幣にはあまり注目されていないきらいがあります。しかし、国内において実際に授受されるのは金銀貨よりも紙幣の方がはるかに便宜であり、明治初年には諸藩札、新政府発行の太政官札、民部省札等、きわめて多種の紙幣が混用されていました。明治通宝はこれらを回収することを主な目的として発行され、明治 10 年ころまでにはほぼこの新紙幣に統一されたと言われています。そして、より贋造しにくい神功札とも言われる改造紙幣を経て、明治 18（1885）年から流通する日本銀行券（写真 3）に連なります。



［30% 縮小図］
写真 2　明治通宝（5円券）



［30% 縮小図］
写真 3　最初の日銀券（明治 18 年）

このように、政府紙幣である明治通宝や改造紙幣は、金銀貨と何時でも交換できる日銀券とは異なり、不換紙幣でした。明治初年の各種紙幣を回収し、統一した紙幣にすることが目標でしたから、もともと正貨と交換する必要はなかったのでしょう。しかし、実際には政府による支出、とりわけ明治 10 年の西南戦争出費に大量を充てたため、国内では政府紙幣の価値（紙価）が半額近くにまで下落し、物価騰貴をもたらしました。こうした経済混乱を正すため、紙幣価値を金銀正貨に結びつけ、発行管理を政府とは独立した中央銀行に行わせるため日本銀行が設立されたわけです。

日本銀行設立はその後の日本経済発展に大きな画期となってはいますが、貨幣史の大きな流れから観察すると、昭和初年に直面することとなる変革の序の口に過ぎません。それは貨幣の価値や発行量の目安を、正貨である金・銀に依存しているからです。いわば、ここまで経済が発達してきても、未だ金属貨幣の時代から脱皮できていないということになります。金本位制から完全に離脱し、管理通貨制度に移行した昭和初年は貨幣史の大きな転換点ということができます。

では管理通貨制度とはどのような貨幣制度だったのでしょうか。字義的には政府と中央銀行が一元的に国内通貨の発行量を管理する制度です。その発行権は政府が独占し、発行されたその通貨は法律により強制通用力をもち、いかなる取引においてもそれによる支払いを拒絶できない。管理通貨制以前のように、紙幣や硬貨発行量を政府保有の金・銀の量に制約されることなく、市場の需要に応じて際限なく決めることが大きな特徴となります。このため、そうした通貨供給の柔軟性がインフレーションに陥りやすく、貨幣価値を低落させる要因となりました。

以下、金本位制から離脱した以降の昭和 100 年の貨幣動向を観察しましょう。（表 1）

表 1　貨幣年表 昭和 ― 平成 ― 令和

年	紙　　幣	硬　　貨	備　　考
大正末年時点で流通	甲 100 円券、甲 20 円券、乙 10 円券、丙 5 円券、1 円、50 銭、20 銭、10 銭	50 銭、20 銭、10 銭、5 銭、1 銭、5 厘	
大 12（1923）	甲 200 円券（緊急印刷、未使用）		関東大震災対応
昭　2（1927）	乙 200 円券（裏白）、甲 50 円券（裏白）、丙 200 円券（裏赤、緊急用、使用は S20.8.16 ～）		金融恐慌
昭　5（1930）	乙 100 円券（聖徳）、丁 5 円券（菅原）、丙 10 円券（和気）		金輸出禁止解除
昭　6（1931）	乙 20 円券（藤原）		金輸出禁止、管理通貨制移行
昭　8（1933）		10 銭・5 銭ニッケル貨	外国為替管理法制定
昭 13（1938）	50 銭券（富士桜）	10 銭・5 銭アルミ青銅貨、烏 1 銭黄銅・アルミ貨	臨時貨幣法
昭 15（1940）		菊 10 銭アルミ、5 銭アルミ貨	
昭 16（1941）		富士 1 銭アルミ貨	太平洋戦争開始
昭 17（1942）	甲千円券（日本武尊）、藤原 200 円券（使用 s.20 年～）丁 5 円券（2 次）、靖国 50 銭券		アルミ貨以外硬貨回収
昭 18（1943）	10 円券（和気）、5 円券（菅原）、1 円券（武内）		
昭 19（1944）	10 円、5 円、1 円券改正発行、10 銭、5 銭不換 100 円券（聖徳）、10 銭券（八紘一宇）、5 銭券（楠公）	10 銭・穴あき 5 銭・1 銭錫貨	ブレトン・ウッズ体制
昭 20（1945）	改正不換 100 円券（聖徳）、10 円券（和気）、A 千円券	稲 10 銭アルミ貨、鳩 5 銭錫貨	陶貨製造も未発行
昭 21（1946）	A 号 100 円（聖徳）、A 号 10 円券（議事堂）・5 円券（彩紋）、A 号 1 円券（二宮）	大型 50 銭黄銅貨	新円切り替え
昭 22（1947）	10 銭券（鳩）	小型 50 銭黄銅貨	大型 50 銭貨回収
昭 23（1948）	50 銭券（板垣）、5 銭券（梅）	穴なし 5 円貨、1 円黄銅貨	
昭 25（1950）	B 千円券（聖徳）		朝鮮戦争開始
昭 26（1951）	500 円券（岩倉）、50 円券（高橋）	**10 円青銅貨**	
昭 28（1953）	100 円券（板垣）		小額貨幣整理令
昭 30（1955）		50 円ニッケル貨、**1 円アルミ貨**	
昭 32（1957）	5 千円券（聖徳）、翌年 1 万円券（聖徳）	100 円銀貨（鳳凰）	前年より神武景気
昭 34（1959）		100 円銀貨（稲）、50 円貨穴あき	岩戸景気（～昭 36）
昭 38（1963）	C 千円券（伊藤）		
昭 42（1967）		**100 円、50 円白銅貨**	
昭 44（1969）	500 円券（岩倉）		（1971 年 固定相場制停止）
昭 57（1982）		500 円白銅貨	（1973 年 変動相場制）
昭 59（1984）	1 万円券（福沢）、5 千円券（新渡戸）、千円券（夏目）		翌年プラザ合意、円高不況
平 12（2000）	2 千円券（沖縄）	**500 円ニッケル黄銅貨**	平 8 ～長期デフレ持続
平 16（2004）	1 万円券（福沢）、5 千円券（樋口）、千円券（野口）		
令　6（2024）	**1 万円券（渋沢）、5 千円券（津田）、千円券（北里）**		円安ボトム？

出典：『日本貨幣カタログ　2018』日本貨幣商協同組合、『図録　日本の貨幣』7,8 巻、東洋経済新報社

2　激動の昭和前半経済と貨幣

(1) 裏面の印刷がなくても貨幣？

昭和の時代は激動の中で始まり、その後おさまるどころか、破綻という言葉でも言い表されないほどの壊滅的な状況を 20 年目で体験することになりました。この間に発行された貨幣（紙幣・硬貨）もそうした状況を色濃く反映したものです。

昭和がスタートした 1926 年は、国内では 3 年前の関東大震災による混乱が収束しておらず、国外では第 1 次世界大戦後の軍縮時代にあたり、世界的に不況が持続して各国が打開策に腐心しています。わが国は大戦中の戦地が欧州中心であったことから輸出を大幅に伸ばし、正貨の蓄積を進めました。しかし先進諸国が金輸出を次々と断行したため、わが国も国外の投機業者による金持ち出しを防止するため金輸出解禁に踏みきり、一時的に金本位制に復帰します。くわえて震災後の復興資材輸入が激増したこともあり、在外正貨は激減し、為替相場が下落しました。罹災した多くの首都圏の銀行が保有手形の割引が滞るようになり、政府・日本銀行による救済にもかかわらずその信用不安が高まり、取り付け危機に陥りました。こうした状況下、流動性を高めるため、大量の紙幣が準備されました。

最初に不測の事態に備えて急遽準備された紙幣は 1923 年大震災直後の甲 200 円券で、同年末の 2 か月間で新規に 150 万枚印刷されました。それまで発行された最高額の 100 円紙幣の額面を超えているところに、取り付けによる準備紙幣対策の面が現れています。たださいわいにもこの期には既存の準備紙幣で通貨需要に対応でき、この甲 200 円が市中に回ることなく 1926 年 4 月に焼却されました。

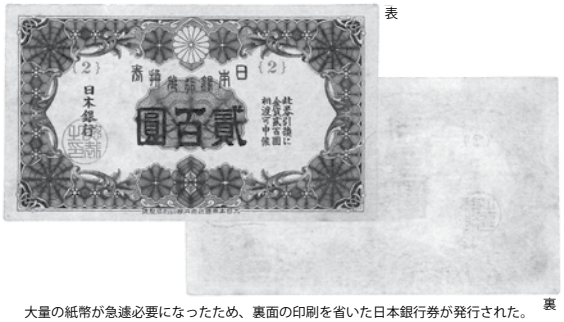
しかし皮肉にも再度高額券の準備を急かれる事態が生じました。昭和金融恐慌と言われる信用不安拡大による銀行倒産を防ぐため、大量の取り付け対応資金が必要になったためです。1927 年 3 月若槻内閣の片岡蔵相による、「東京渡辺銀行が手形決済不能のため休業した」という不確定情報による国会失言が発端になったことは有名です。資金力の限られていた地方銀行では同年初めから休業が出始めていて、金融界では動揺気味だったため、この発言により一気に各地で取り付け騒ぎが拡大し、同年 9 月までに全国で 44 行も休業しました。それらの中には旧国立銀行では突出した資本金を持つ十五銀行があり、また財閥企業に準じる鈴木商店の経営破綻があきらかになって、その主力銀行である台湾銀行も経営危機に陥りました。

政府は震災手形の割引期限後救済策も進めますが、取り付け拡大の最高の対応策は預金引き出し急増に備えるべく、大量の紙幣を準備することでした。日本銀行券の大正末年発行高は 10 数億円で推移していましたが、銀行取り付けがもっとも激しくなった昭和 2（1927）年 4 月 21 日時点で市中銀行への貸出額は 6 億 100 万円、発行高は 23 億 1800 万円に対し、日本銀行の準備保管高は 4 億 2400 万円を残すに過ぎませんでした。当時、政府は全国の銀行を休業させ、4 月 25 日に営業再開としていました。放置すれば、あっという間に日本銀行の準備紙幣が尽き、金融恐慌をさらに深めかねません。上述のように、大震災後の一斉資金需要にそなえて、4 年前日本銀行は 3 億円分の甲 200 円券を非常用に製造していました。結果的にこれは市中に出回ることなく、また紙質･印刷の出来栄えも今一つだったので、1 年前に焼却処分してしまっていたのです。

ここに至って、通貨当局による史上最速の新紙幣発行が展開されました。日本銀行は全国の銀行が臨時休業している 4 月 23 日、新規に乙 200 円券 10 億 2200 万円と 50 円券 240 万円の製造を大蔵大臣の承認を得て印刷局に依頼。印刷局はただちに製造にかかり、徹夜作業の結果、翌日夕刻に第 1 回 8000 万円の納入、その後 8 回に分け翌 25 日夜までに 50 円券とともに全額を終了しました。大震災後に発行した甲 200 円券 3 億円の際は首都圏にある印刷局が罹災したため大阪の下請け印刷所で製造したこともあり、完了までに 1 か月半を要しています。乙 200 円券はなぜわずか 2 日間で製造が可能だったのでしょう。

その理由は、出来栄えよりも兌換券として最小限の機能である「引換券」機能にのみ留意して急造したことにあります。印刷局は既存他証券の原版転用と抄紙使用によって直ちに製造にかかりましたが、最大の特徴は裏面がまったく印刷されていなかったことにあります。これにより印刷時間を半分短縮でき、全国の銀行休業明けに間に合わせることができたのです。明治以降、実際に流通した紙幣で裏面が白紙のままのものはこの乙 200 円券（写真 4 、図 1）のみです。

乙 200 円券はあくまで緊急用であったため、日本銀行は同年 5 月 2 日、非常準備用の丙 200 円券をあらためて製造することにします。その券面はおおむね甲 200 円券に準じており、前年に焼却した同券を製造し



大量の紙幣が急遽必要になったため、裏面の印刷を省いた日本銀行券が発行された。

［40% 縮小図］

写真 4　乙 200 円券（昭和 2 年）



図 1　乙 200 円券配布を報じる新聞記事（昭和 2 年）

出典：日本銀行金融研究所（2017）

なおす狙いがあったことがわかります。緊急発行の乙 200 円券は製造後ただちに全国の市中銀行に配布されたので、取り付け騒ぎはようやく沈静化に向かいます。丙 200 円券はこの粗製乙 200 円券を早々に回収するために、やはり「急いで」発行されたことがわかります。ただ実際には、乙 200 円券回収は大正末年までに発行されていた既存の銀行券で進み、結果として丙 200 円券が使用されたのは 1945 年 8 月 16 日以降でした。甲 200 円券を早々に焼却してしまった失敗に学び、その後 20 年近く日本銀行の金庫奥深くに保管された後、戦後の新紙幣発行までのつなぎとして、今回はその役割を果たすことができたわけです。

（2）歴史上唯一の陶貨も準備

昨年 10 月、京都市東山区の製陶工場跡地の倉庫から大量の 1 銭陶貨が発見されたことが新聞、TV で報道されました。（写真 5）その製造に関する記録はこれまでも知られており、昭和 20 年におよそ 1500 万枚を京都と、愛知県瀬戸市、佐賀県有田町の 3 か所陶業地に委託していました。しかし計画枚数に達する前に終戦となり、実際に流通することなく、終戦とともに粉砕処分されたと言われています。発見された陶貨は 50 万枚を超え、廃棄にあたり混乱した終戦直後のため回収漏れとなったのでしょう。当時の小額貨幣は、日中戦争さなかの昭和 13（1938）年に小型の 50 銭銀貨に代えて 50 銭紙幣（富士桜）が発行されたほか、10 銭、5 銭、1 銭のアルミ貨や錫貨が流通していました。軍需物資が払底のおり、国内の諸金属が軍用に回収させられていた当時、昭和 19 年には小型の 10 銭（八紘一宇）、5 銭（楠公）紙幣がアルミ貨に代わって発行（写真 6）されています。その際、残った金属小額貨幣としては 1 銭錫貨があり、この 1 銭陶貨はそれに代わるものとして製造されました。最小額面の 1 銭紙幣のみでは授受される頻度が多く、摩耗等によって劣化が早いため、強い材質硬貨が求められたのでしょう。





写真 5　木箱に入った陶貨と 1 銭貨

（造幣局・読売新聞提供）



50 銭券



10 銭券



5 銭券

［40% 縮小図］

写真 6　戦中末期の小額銭券

ところで、明治前期の中核となった貨幣は 20 円金貨や 1 円銀貨のような硬貨であり、昭和期のような紙幣ではありません。立場が逆転したのは明治 30 年に金本位制を採用して以降、兌換紙幣がいつでも地金・金貨と交換できるようになってそれら保有量を上回る紙幣発行ができるようになります。そうすると本位貨幣である金以外の金属貨幣は補助貨幣となり、使用頻度の高い小額通貨としての役割がおおきくなるわけです。そして経済が発展するとともに小額貨幣需要は拡大し、鋳造素材も多様化しました。

昭和初年時点において、50 銭銀貨が大正 11（1922）年あらたに発行され、もっとも高額面の補助貨幣として大量に流通していました。銅貨やニッケル貨ならばともかく、貴金属である銀貨が補助貨幣というのは江戸時代や現代では考えにくいですが、金本位制の時代であったからそのようなことがありえたのです。当時流通していた銀貨は、新発行後まもない 50 銭貨のほか、明治末年に発行された旧 50 銭貨、20 銭貨、10 銭貨や明治初年発行の 5 銭銀貨もあります。ただ、古い時代の銀貨ほど大型で額面あたりの銀量が多いため、実際には政府が回収したくても富裕層に退蔵されてしまい、市中に出回る割合は多くはなかったでしょう。このため 50 銭銀貨以下の補助貨幣は銅貨や白銅貨（銅に 25% ほどのニッケルを加えた合金）に取り換えてゆくようになります。主に流通したのは 10 銭と 5 銭の白銅貨、さらに 1 銭と 5 厘の青銅貨（95% の銅に若干の亜鉛と錫）も端数処理通貨として不可欠でした。

ちなみにこの青銅貨の貨幣価値を現在と対比してみましょう。一般に時期を隔てて実際の価格水準を比較するには物価指数を用います。詳細な手続きは省きますが、昭和初年を基準として現在はおよそ 2 千倍の上昇となっています。米価の変動を基準とすれば、2 千から 2 千 6 百倍ですので、当時の 1 銭は 20 円から 26 円ほどの値打ちがあったことになります。そうすると 5 厘の青銅貨は現在の 10 円の値打ちがあったわけで、意外に端数処理用の小銭はなかったことになります。その背景として、庶民の生活用品はツケ買いやまとめ買いが多く、小額での日常的な現金決済がかならずしも一般的ではなかったことが知られます。

管理通貨制に移行した昭和 6 年、日中戦争がはじまり、補助貨幣の材質が少しずつ変わっていきます。物価水準はさほど大きく変化はしませんでしたが、軍事に必要な銅やニッケル等が少しずつより安価なアルミのような金属に代えられ、また使用量を節約するために小型化も図られました。5 銭貨について推移を見ますと、昭和 7 年までは明治 22（1889）年以来の白銅貨でした。もっともそれ以前の 5 銭貨は明治初年以来、小型ではあっても銀製（20% の銅を含む）でしたので、貶質化は少しずつ進んでいたことになります。また 5 銭白銅貨は大正 9（1920）年までは大型（4.67 ～ 4.28g）でしたが、翌 8 年より厚さを薄くして重量はおよそ 6 割になりました。その後昭和 8 年以降、材質をニッケル貨、アルミ貨へと変え、同 15 年以降は急激に貶質化が進みました。最初のアルミ 5 銭貨は昭和 15 年に 1.2g ありましたが、翌年 1.0g となり、さらに 2 年後の 18 年には 0.8g となっています。この間直径は 19 ㎜で同じデザインのままでした。3 年間で厚さが 3 分の 1 薄くなったわけです。現在流通の 1 円アルミ貨が直径 20 ㎜、重量 1g ですので、さらに薄っぺらなアルミ貨が 20 円ほどの購買力を持っていたことになります。それほど物資がひっ迫していたわけで、昭和 20 年に陶貨製造がひそかに準備され、使用直前段階にまで進んでいた事情が理解できます。（写真 7）



10 銭錫貨（昭和 19 年）



穴あき 5 銭錫貨（昭和 19 年）



1 銭錫貨（昭和 19 年）

写真 7　戦中末期の銭貨

3 「敗戦」を唯一サバイバルした「聖徳太子」

（1）日本再生の象徴として

明治以降紙幣の表面には多くの人物が登場しています。その際、戦前と戦後とでは大きな差異があります。戦前では、最初に登場した神功皇后のほか武内宿祢（第 8 代孝元天皇の曽孫で、景行～仁徳の 5 朝に仕えたと言われる伝説上の人物）や日本武尊のような記紀に登場する英雄や、実際に史実があきらかな藤原鎌足、和気清麻呂、菅原道真のような古代・中世の政治家・貴族が用いられています。共通するのは当時において評価のわかれる人物選定を避けていたことです。外国では王制下ならば君臨する王の肖像、共

和制ならば功績ある歴代大統領等が登場する場合が多いですが、わが国では現代でもそのような紙幣を忌避する姿勢が継続しています。したがって、直接に歴代天皇を用いる代わりに、皇室や体制を支えてきた人物が多く登場するのでしょう。

昭和 20 年 8 月 15 日の終戦を経て、さまざまな改革が緊急に迫られる中、紙幣デザインについても改変が行われました。当時流通していた肖像紙幣は 1000 円券（日本武尊）、200 円券（藤原鎌足）、100 円券（聖徳太子）、10 円券（和気清麻呂）、5 円券（菅原道真）、1 円券（武内宿祢）、5 銭券（楠正成、但し銅像）の 7 種です。GHQ（連合国総司令部）は、これらはいずれも軍国主義の色彩があるので新しいデザインに改変することを命じました。しかし、聖徳太子の 100 円券のみは存続することになります。当時の日銀総裁一万田尚登が GHQ に対し、「聖徳太子は『和を以って貴しとなす』と述べるなど、軍国主義者どころか平和主義者の代表である」と主張して、その存続について GHQ を押し切ったからだと言われています。ただ、人物のみで評価すれば菅原道真も対象外となってもおかしくありません。ただその券面を見ると左側に北野神社が大きく描かれており、日本人には学問の神様であっても GHQ から見れば神社はすべて忌避すべき対象だったのでしょう。

こうして唯一「敗戦」をサバイバルした聖徳太子でしたが、そのデビューは昭和 5 年の乙 100 円券（写真 8）でした。いつの時代も最高額面の肖像が紙幣の代表となりがちですが、上述のように一時的に緊急発行された昭和 2 年の乙 200 円券（裏白）を例外とすれば、100 円券は終戦を経て昭和28年に板垣退助と交代するまでその地位にありました。ただその 3 年前に聖徳太子はあらたな千円券にも登場しており、さらに昭和 32 年には 5 千円券、翌年には 1 万円券にも採用され、まさに戦後の経済発展、高度成長の象徴としての評価を盤石のものとします。ただ同一の最高額面紙幣肖像としては聖徳太子以前の明治 33（1900）年に、甲 100 円券で登場した藤原鎌足がいます。聖徳太子に交代する昭和 5（1930）年まで 30 年も続きましたが、この記録は戦後福沢諭吉によって塗り替えられることになります。なお、額面を変えて連続紙幣に登場していた人物となれば、やはり聖徳太子です。昭和 33 年 1 万円券が最初に発行された際、5 千円券とともに高額貨幣の「顔」をつとめ、昭和 59 年福沢諭吉と樋口一葉にその座を譲るまで、のべ 54 年にわたり君臨していたわけです。



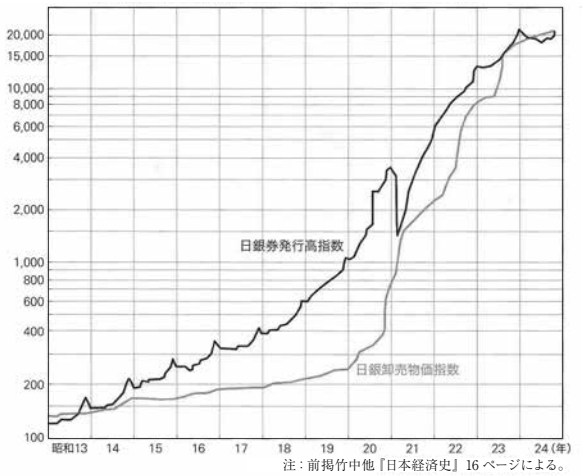
乙 100 円券（昭和 5 年）



改正 100 円券（昭和 20 年）
［30% 縮小図 ］
写真 8　聖徳太子の 100 円券

(2) 危機と復興のあゆみ

昭和 100 年をふりかえり、最大の危機と転換点は敗戦と経済復興でしょう。20 年 8 月 15 日無条件降伏にいたるまで多くの人命喪失、軍需の名のもとでの生産財浪費、空襲等による国土荒廃が進みました。昭和のみならずわが国有史以来の危機的状況でもあったと思われます。住む家さえ失った人々は空襲の集中した都市部に偏っていたとはいえ、海外からの復員者や引揚者だけで 600 万人余あり、生活物資と食料不足は全国的に切実な課題でした。くわえて戦後、猛烈なインフレーション（図 2）が進行し、それまである程度のたくわえをしていた人々の生活をも蝕んでいったのです。これらの状況をどのようにわが国は乗り切ったのでしょうか。



注：前掲竹中他『日本経済史』16 ページによる。
図2　卸売物価指数の推移（昭和 13 ～ 24 年）

戦後復興に大きな影響をおよぼした GHQ が早急に政府に求めた改革として農地改革・労働者地位改善・財閥解体が有名です。しかし中長期的には有効であっても、当面する食糧問題と悪性インフレーションへの対策は急を要しました。前者については占領政策に支障となる社会不安を取り除く意味もあって、連合軍による輸入食糧の大量放出によりかろうじて切り抜けることができました。後者については一種の戦後処理的な荒療治が行われています。昭和 21 年 3 月 2 日に旧円券の流通を禁止し、それらを同月 7 日までに預金すること強制し、それを引き当てとする新円による引き出し額を制限することと、サラリーマンの月給上限を 500 円に制限したことです。これにより市中に出回る貨幣量は大幅に縮小しました。当時、都市生活者にとってヤミ米価格は 1 升（約 1.5 kg）が 68 円前後でしたので、4 人家族ならば主食だけでも 1 か月に満たない収入であったことになります。

こうした一般市民の耐乏をせまる対策だけではインフレは終息しませんでした。復員した旧軍人に対する手当支払いや戦時中の軍需工場に対する未払い債務支払い、企業に対する銀行貸し出し膨張、占領軍滞在費用負担の増大等により、通貨流通量はむしろ爆発的に増加し、戦後 4 か年で小売物価指数（東京）は 79 倍、卸売物価指数は 60 倍に達しました。預金や手持ちの現金の値打ちが数年足らずでわずか 2% 以下になってしまったわけです。これらに対する根本的な対策は、ヤミ取引を厳しく取り締まりつつ配給制度を整備して食糧問題を改善することと、石炭を中心とする基幹産業の傾斜生産方式を進め、鉱工業における基礎的生産部門を進展させることでした。戦災で相当の被害を受けたとはいえ、鉄鋼や機械のような重工業部門の生産能力は終戦時でも開戦時を上回っており、犠牲となっていた繊維産業のような軽工業もエネルギー部門の復興を集中的に進めることにより国民生活の復興も少しずつ進みました。(表 2)

表 2　経済復興期の主要経済指標

（1934～36 年平均＝100，1946 年）

指　標	1946(昭和21)年	戦前水準を超えた年
国民総生産	69.3	108.8（1951年）
（同 1 人当り）	(63.5)	103.4（1953年）
個人消費支出	62.5	101.0（1951年）
（同 1 人当り）	(57.1)	102.4（1953年）
民間固定資本形成	87.5	102.6（1951年）
輸出等受取	2.5	109.3（1957年）
輸入等支払	13.2	116.0（1956年）
鉱工業生産	27.8	100.7（1951年）
鉄鋼業	22.3	118.7（1950年）
機械工業	50.5	116.2（1949年）
繊維工業	13.0	105.0（1956年）
農業生産	84.7	111.4（1952年）

出典：三和 (2021)

以上のような目まぐるしい経済状況のもと、貨幣がどのように出回ったかみておきましょう。前述のように「新円切り替え」は昭和 21 年 3 月に断行されますが、準備された新円は 100 円（聖徳）のほかは、10 円（議事堂）、5 円（彩紋）、1 円（二宮）の 3 種（写真 9）でした。券面図柄は 100 円券のみ変わらず聖徳太子です。2 年前に発行された同額の紙幣とほとんど同じデザインでしたが、色調のみ変わっています。100 円（聖徳）券は前年の終戦直後にも 10（和気）円券と同時に発行されていますが、50 銭以下額面の小額紙幣とともに、戦時色のデザインを一括廃止方針のもと、21 年には 100 円券も発行しなおしたものと思われます。

新円切り替え後の小額貨幣についてみると、翌 22 年に 10 銭券（鳩）、23 年に 50 銭券（板垣）と 5 銭券（鳩）が新発行され、同年までに 50 銭および 5 円・1 円の黄銅貨も出回ります。ただし、最小額面の 5 銭券の値打ちがどれくらいであったか、当時の物価と対比してみましょう。ここでは郵便料金（はがき）で評価すると、20 年に 5 銭、ついで 15 銭、50 銭と大幅に上昇し、23 年には 2 円と、わずか 3 年間で 40 倍も上がりました。現在 85 円ですから 23 年以降さらに約 40 倍になったことになります。そうすると 23 年の 5 銭券ははがき 1 枚買うだけで



10 円券（昭和 21 年）



5 円券（昭和 21 年）



1 円券（昭和 21 年）
[40% 縮小図]

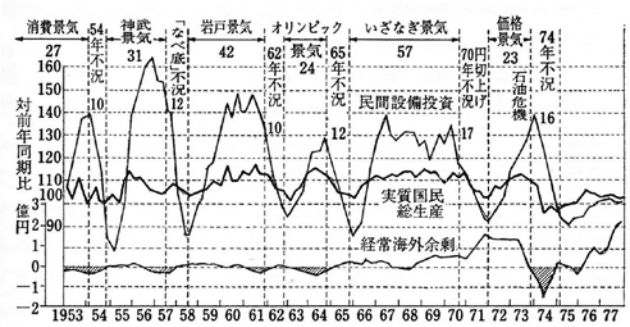
写真 9　戦後の新紙幣

40 枚要し、現在の貨幣価値でわずか 2 円余りに過ぎなかった、つまり円未満の通貨は子供が駄菓子屋でかろうじて使える程度のお金になっています。23 年の新発行にもかかわらず、たんに端数処理用でしか使われなかったことでしょう。

昭和 25 年には聖徳太子の千円券が発行されますが、朝鮮戦争特需もあってようやくインフレもおさまり、最初の 500 円券（岩倉）と 50 円券（高橋）も翌年出され、さらに 2 年後には聖徳太子に代わる 100 円券（板垣）も発行されて、戦後の経済混乱がようやく収束に向かいました。昭和 30 年までに硬貨の方も 10 円青銅貨、50 円ニッケル貨、1 円アルミ貨と鋳造発行され、今日の通貨体系がほぼ整いました。

4 「先進国」日本の象徴「福沢諭吉」

昭和 20 年代紙幣の最高額札である千円券肖像となった聖徳太子は、同 32 年にはじめて発行された 5 千円券に、翌年には 1 万円券肖像のそれぞれ初代人物として重用されます。戦後における紙幣肖像人物採用については岩倉具視や板垣退助、高橋是清のような戦前の政治家が増えてきた中で、高額面 3 種ともおなじ人物となった意義は大きいでしょう。日本経済は昭和 30 年頃までに、鉱工業生産、国民所得、農業生産、輸出入量等の主要な経済指標において戦前水準を回復し､翌年度の『経済白書』において「もはや戦後ではない」と宣言されました。とくに 30 年度の輸出拡大による民間設備投資は未曽有の増加を示し、テレビ・冷蔵庫・洗濯機のいわゆる三種の神器登場による旺盛な消費支出による好景気は「神武景気」といわれ、高度経済成長時代の幕開けとなります。その後一時的に「なべ底景気」という景気後退局面もありましたが、34 年には急速な回復を示し､「投資が投資を呼ぶ」42 か月持続の「岩戸景気」に至ります。この間の年平均経済成長率は 9% にも達しました。(図 3)



注：『近現代日本経済史要覧（補訂版）』156 ページによる、実質国民総生産と民間設備投資は、対前年同期比率、景気・不況の呼称の下の数字は断続期間（月数）。

図 3　戦後の景気変動 (1953 ～ 77 年)

出典：三和 (2021)

1 万円券新発行までの最高額紙幣千円券は、当時紙幣発行高の 85% を占めていたため、5 千円券とともにさらなる高額券発行は時宜を得たものでした。ただ当時の大学卒初任給が 1 万 3 千円程度であったため、日常生活ではまだ千円券以下の使用が普通でした。こうしたなか、36 年から「チ－37 号事件」という千円札の精巧な偽造事件が起こります。戦後最大の偽札事件といわれます。38 年にかけて全国 22 都府県から合計 343 枚も発見され、未解決のまま公訴時効となりました。おなじ聖徳太子札でも千円札のみ印刷技術が古く、早急に新札発行が検討されます。そこで券面に登場したのが伊藤博文で、当時の最高の印刷技術が駆使されて 38 年に発行されます。事件の影響もあり急速に新札が普及しました。



注：日本銀行「主要時系列統計データ集」による。

図 4　円相場の推移 (1950 ～ 2014 年)

出典：草野 (2016)

伊藤千円札の登場後、44 年に 500 円札（岩倉）の改訂を行った以外、ほぼ 20 年にわたり新札を出していません。この間、日本経済は国際的には 46 年の固定為替相場制停止と変動相場制への移行により大幅な円高が進行（図 4）し、同時に第 2 次オイルショックも生じて原油価格が高騰しました。経済環境鈍化により約 20 年持続した高度成長は終焉しますが、54 年出版のハーバート大 E. ヴォーゲル教授の著書 *Japan as Number One,* 1979 により戦後日本経済の豊かさが評価され、「先進国」仲間入りを果たしました。

成長率は鈍化し、「長期低迷」の時代に入りますが、いわゆる先進米・英・独 3 国でも同様な推移をたどっています。（表 3）人体同様、経済も一定の成長を遂げた後は、内面の充実が問われることになります。具体的には、労働、医療福祉、住環境等の改善です。

このような状況下で 59 年に登場したのが福沢諭吉 1 万円札でした。同時に新渡戸稲造（5 千円）と夏目漱石（千円）も発行され、従来のような皇室にかかわる人物か政治家ではなくいずれも文化人が選ばれたことが注目されました。国の再建と経済の一定度の発展が成就できたことの自信の表れといえるでしょう。とりわけ最高額面の 1 万円札に登用された福沢の衣装がラフな着流しの和服姿（写真 10）であることにお堅い筋から異論があったようですが、生前に公式の場でも和服が普通であったため原案通りとなりました。

表3　成長率の国際比較（1960 ～ 87 年）

	1960–68年	1973–79年	1979–87年
日　本	10.2	3.6	3.8
アメリカ	4.5	2.4	2.6
西ドイツ	4.1	2.3	1.4
イギリス	3.1	1.5	1.8
フランス	5.4	2.8	1.7
イタリア	5.7	3.7	2.2

出典：三和（2021）



［30% 縮小図 ］
写真 10　1万円券 福沢諭吉（昭和 59 年）

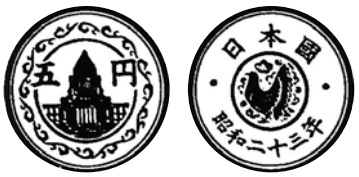
こののち紙幣の改刷発行は昨年の渋沢栄一登場まで 20 年ごとになっています。しかも 5 千円、千円札とも同時一斉であり、聖徳太子時代のように大きな物価変動や世界経済の変化に対応した改刷ではなく、製造技術や偽造防止技術発展との対応による紙幣の安定使用をはかるためのものでした。通貨使用が手交中心でなく、ATM や両替機、自動販売機の普及が進んだことも「一斉改刷」せざるを得ない要因でしょう。なお、その 20 年後（平成 16 年）の改刷の際、唯一福沢諭吉のみ引き続き 1 万円券として残りました。当時の小泉首相と塩川財務大臣がともに慶應義塾大学出身であるため、とのウワサも立てられましたが、実際は発行枚数の約 6 割を占める 1 万円札改刷のコストを縮小するためであったと言われます。いずれにしろ、福沢 1 万円札登場後の日本経済が「先進国」特有の問題点（少子高齢化、社会保障費増大、産業空洞化等）を抱えながらも、昭和 20 年代にははるかな目標であった経済の成熟段階に達したことに誤りありません。

なお、戦後経済が落ち着いた後の硬貨の動向もみておきましょう。今日流通の 500 円玉以下 1 円まで 6 種のうちもっとも古いのは、昭和 23 年発行の 5 円（穴ナシ）と 1 円の黄銅貨です。当時は 10 銭、5 銭の小額政府紙幣も流通し、5 円玉の価値は相当にまだ高かったでしょう。戦後の連合国による占領下の平和日本を象徴し、日常的にもっとも親しまれた 10 円券（議事堂）に代えて、独立を戻した 26 年に 10 円青銅貨が登場（写真 11）、「戦後」終了の 30 年には 50 円ニッケル貨と 1 円アルミ貨もあらたに発行されます。その 2 年後 100 円銀貨も出て、材質やデザインに若干の変更はのちに加えられますが、現在の硬貨は額面としてはおおむね出そろいました。

1 円未満の通貨は 28 年にすべて通用停止となりましたので、1 円アルミ貨が出た当時は最小額面の硬貨となっています。消費者物価指数は昭和 30 年頃と 70 年後の現在ではおよそ 5 倍以上の上昇となっていますので、それでも 1 円玉は現在価値で 5 円以上であったことになります。現在ではほとんどお釣りの用途としてのみの存在ですが、当時は 1 円刻みの商品価格は珍しくありませんでした。高度経済成長により庶民のふところにも通貨がたくさん出回るようになり、1 円玉は急速に供給されました。造幣局の製造枚数統計によれば平成元（1989）年の消費税 3% 導入以降 1 円玉の用途が端数処理目的に偏り、大量の需要が生じています。（図 5）



10 円青銅貨（昭和 26 年）



5 円黄銅貨（穴ナシ）（昭和 23 年）



1 円黄銅貨（昭和 23 年）



大型 50 銭黄銅貨（昭和 21 年）
写真 11　戦後の硬貨

問題は物価上昇にともなう 1 円玉製造コストです。8% 増税の行われた平成 26 年にはアルミ価格が上昇しており、1 円玉 1 枚当たりコストが 3.4 円にも達した記録があります。その後のアルミ相場は若干下がりましたが、現在でも製造コストは 1 円以上(素材相場は 0.4 円)です。しかも食品等の日常消費物資の販売単価に端数の 8 円とか 9 円を付ける傾向の商品が多いためその需要は変わらず、政府の意外な負担となっています。ただ現行税率は令和元年に 10%（軽減税率は 8% のまま）となり、1 円玉需要は大幅に減少し、追加製造は止まっているようです。

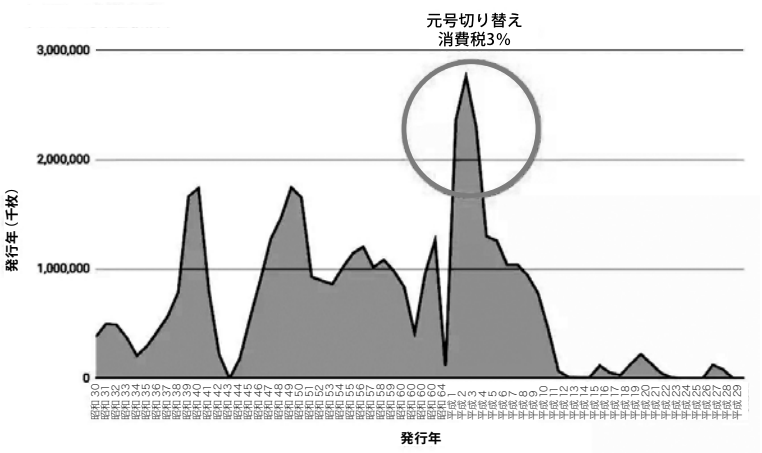


図 5　1 円貨発行量

5　デフレ脱却へ：貨幣の信頼はどう担保されるか

日本経済は平成 10 年前後（1990 年代後半）よりバブル経済崩壊の結果、長期デフレに入ります。需要が落ち込んで企業業績が減少し、給与水準や雇用も下落するためさらなる需要の落ち込みが悪循環するメカニズムです。実際、この時期より消費者物価指数の前年比マイナスが珍しくなくなり、一見、物価下落で生活がし易くなったように見えますが、国民の多くは将来の生活不安に備えてさらなる節約・貯蓄に励む結果、一向に需要が伸び悩むわけです。(図 6)



図 6　全国消費者物価上昇率

政府はデフレ脱却策の基本の一つとして「ゼロ金利」政策を持続しました。企業がほとんどゼロに近い金利で融資を受け、活動しやすくする目的です。しかし、個人消費は一向に伸びず、20 年を超える長期デフレとなっています。この長いデフレにようやく脱却の兆しが現れたのは、ロシアのウクライナ侵攻による食糧・エネルギー供給不足と、世界的なコロナ禍終息後の需要回復による物価上昇の動きです。とくにこの 2 年、円安が進行し輸出関連企業の業績が伸びる一方で、原材料の多くを海外に依存する生活必需品価格が上昇し、また賃金・給与引き上げも進みつつあります。こうした節目に「資本主義の父」と言われる渋沢栄一 1 万円札と、パンデミック研究功労者の北里柴三郎千円札が登場してきたことは意義あることでした。

こうした新札登場の一方、キャッシュレス化も進んでいます。2010 年に 13% だったその比率は 2020 年には約 30% に達し、近年はこれまで大半を占めたクレジットに加え、少しずつコード決済や電子マネー、デビットによる取引も進み、40% のキャッシュレス比率に迫ろうとしています。ただし、国際的に見ると日本のキャッシュレス化はまだ遅れており、2020 年段階で韓国、中国が 80% 以上と先端にあり、英国、米国は 60 ～ 50％台でした。ドイツのみ 21% と低く、それぞれの国情によるところ少なくないようです。たとえば中国はもともと偽札が多く、現金に対する信頼が薄いことに加え、スマホ普及時期が他国より遅れた分、市中の露店でも使用できるほど政府が急速なスマホ普及によるキャッシュレス化を進めたといわれます。対してわが国は偽造防止技術が精巧なため、現金に対する信頼が厚く、加えてカード決済手数料がネックになって取り扱う業者がまだ限定されている現状があります。

このように日本銀行券に対する信頼感は絶大ではありますが、1 千兆円を超える赤字国債が「円」に対する信用に影を落としています。この国債額は近年の国家予算の 10 倍にも達しており、さらに毎年歳出の 4 分の 1 を国債に依存する綱渡りの財政運営が継続しています。国債は借金であることに変わりなく、政府は「借りたものは返す」ことが社会常識でしょう。遠からず財政破綻となって、大増税か行政サービスの大幅減少が起こることが心配されています。ただ国債の所有者がすべて富裕者ならば、万一財政破綻して国債証書が紙きれ同然になっても、貸し手である富裕者の金融資産が大幅に失われるということは生じても、日本銀行券じたいの価値は下がらないでしょう。問題は、現在国債の多くを日本銀行が引き受けている（2023 年で約 590 兆円）ことです。それ自体は法律で禁止されていたにもかかわらず、1990 年代のバブル崩壊による金融危機対策として「特例法」により国債発行が認められて以降、どんどん運用がゆるくなってきたのです。

こうした懸念に対して「現代貨幣理論」という学説があり、金本位制下ならばともかく管理通貨制下では債務返済のための自国通貨発行額に制約を受けないため、いくら借金をしても財政破綻は起きないというものです。この理論では、巨額債務があっても、インフレを抑制すれば、社会保障やインフラなど公共サービスの拡充は可能だとしています。問題はいったん財政規律や中央銀行への信認が失われてしまうと、通貨の下落や輸入物価の上昇を通じ、深刻なインフレと経済の大混乱が発生する恐れがあり、実現困難な理論ともいわれています。現に令和 6 年度政府予算のうち、あらたに 35 兆円を歳入に充てていますが、「国債費」として 25 兆円余を累計借金の返済に充てています。年々ふくらむ一方の借金ですが、返済努力は継続されていますので、「借りっぱなし」という状況にはないようです。

それはともかく、今のところ 1 千兆円もの巨額国債を発行しても日本経済は破綻せず、ようやくデフレ脱却局面に差しかかっているようです。しかし昭和初年に体験した金融恐慌や同 20 年後の悪性インフレに類似した事態が再度生じない保証はありません。つまり、政府が打ち出の小槌のように通貨を発行し、いつまでも際限なく消費に充てれば、素朴に考えれば限定されたものやサービスを政府支出により「横取り」的に買い取ってゆくわけですから、需要過多・供給不足となってインフレが亢進するでしょう。そうならないように中央銀行が調整して市中への通貨供給量を監視する役割が与えられています。限度を超えれば、結局のところ「円」への不安が生じ、昭和金融恐慌が起こった時のような信用下落が生じる危険があるわけです。

明治 18（1885）年、日本銀行が設立されて兌換紙幣を発行し始める際、政府はその発行限度額として手持ちの銀貨 200 万円を引替準備金にまず 500 万円に設定しました。翌年、企業勃興ブームが始まったこともあり、引替準備金を 800 万円に増やすとともに 1200 万円の公債募集を行って発行額をさらに増加させます。これにより明治 21 年上期発行残高は 5000 万円を超えました。政府のこの頃の発行限度額積算の根拠は、一人当たりの貨幣保有高がどれくらいかと推計し、同 23 年頃で 2 円前後としました（当時人口　3800 万人）。「富国強兵」を進めてゆく当時、その算定が有効であったかどうかが問われますが、少なくとも同時代の経済状況を十分把握したうえで「適切な」発行限度額を探っていたことは認めなければなりません。

通貨は一定の価値あるモノと交換できるがゆえに「価値を持っている」という、前近代以来の長い時代を経て、政府が保証してくれているから通貨の価値が保持されている管理通貨制度の時代に突入してすでに 1 世紀になります。キャッシュレス化や暗号資産拡大も踏まえたうえで今後の貨幣金融のありかたを検討する際、「歴史に学ぶ」意義はますます大きくなるでしょう。

参考文献

草野　正裕　　『日本のお金の歴史　明治時代 - 現代』ゆまに書房、2016 年
竹中　靖一・作道　洋太郎 編　　『図説 日本経済史』学文社、1979 年
土志田　征一 編　　『経済白書で読む戦後日本経済のあゆみ』有斐閣、2001 年
三和　良一・三和　元　　『概説日本経済史 近現代 第 4 版』東京大学出版会、2021 年
日本貨幣商協同組合 編　　『日本貨幣カタログ』2018、日本貨幣商協同組合、2017 年
日本銀行調査局 編　　『図録　日本の貨幣』7,8、東洋経済新報社、1948,1950 年
日本銀行貨幣博物館 編　　『貨幣博物館 常設展示目録』日本銀行金融研究所、2017 年

F券３券種に採用された「高精細すかし」の技術は世界一
日本のすかしの歴史と現状、世界のすかしとの比較研究

（紙幣研究家）植村　峻

F券３券種に採用された「高精細すかし」の技術は世界一

広く世界の紙製の銀行券に使用されている「すかし」は、凹版印刷による肖像や様々な模様、ドライ・オフセット印刷による精緻な地模様、ホログラムや新しい偽造防止技術などに比べると、やや地味な存在であるが、誰でも直ぐに分かる偽造防止技術面では歴史のある極めて効果的な「隠された最高の偽造防止対策」である。



（図版）表面から見たすかし



（図版）F5 千円券



（図版）裏面から見たすかし

そこで、紙幣にご関心のある皆様に、世界と日本の用紙の「すかし」の技術はどのようにして生まれたのか、それがどのようにしてお札に採用されたのか、現状の高精細で階調のある「白黒すかし」や「高精細すかし」など、「すかし」の特徴を理解して戴くため、今回は「すかし」に重点を置いた内容を紹介するものである。

先ず用紙の「すかし（watermark ウオーター・マーク）」の起源は何か、何時から採用されたのかを調べてみよう。ヨーロッパにおける「すかし」の起源は、記録によると 1282 年にイタリアの製紙メーカー・フアブリアーノ（Fabriano）社（現在も紙幣用紙メーカーとして活躍中）が、自社で抄造した用紙の片隅に付けられた「商標」であった。その後、その技術がやがて証券類の偽造防止技術に進化した歴史を持っている。その後、小切手用紙や銀行券用紙に広く使われるようになり、偽造防止効果が認められて、印刷に比べると地味ではあるが、紙幣、銀行券に不可欠な偽造防止手段となったのであった。しかし、その根源は古代中国において製紙技術が発明され、また初歩的なすかしの抄き入れ技術も開発されたのであった。そして、この中国製の用紙はアラブや欧州地域に対する貴重な輸出品として、シルクロードを通って運ばれ、中国にとって大きな利益をもたらしたのであった。しかし、中国西部地域におけるイスラム国との戦闘において、紙漉き職人であった中国の兵士が捕虜となり、その製紙技術がヨーロッパ地域に広く伝承されたとされている。

東洋における「すかし」の起源は中国王朝時代の「水紋または水印」であり、可視光線で容易に暗証のすかしを識別できることから発達。やがて日本にもその技術が伝わり、一部の「藩札」に採用されることとなったが、日本の藩札用紙の厚さ自体が約 40 ～ 60 ミクロンと分厚いため、容易に「すかし」を識別することが難しかった。そのため、隠された偽造防止対策として、一部の藩札などで採用される地味な存在であった。しかし、「すかし」は製紙段階で紙層に抄き入れられる技法のために、偽造は極めて困難であり、セキュリティ製が高い技法であった。

日本における用紙の抄造は、我国で普遍的な「抄き桁枠」を激しく動かして、用紙を製造する「流し透き技法」では、精緻なすかし入りの用紙製造はかなり困難であったが、抄き桁枠を激しく動かさずに、模様を付けた透き桁を用いて静かに抄造する「溜め透き法」では可能であった。もちろん、溜め抄きの技法を行っていたのは、全国でも一部の地域であり、特に優れたこの「すかし」の技法を用いていたのは、福井藩の五箇村の手漉き職人集団であった。五箇村では西暦 700 年頃から多くの紙漉き職人が、優れた用紙を製造してきており、また村の近くには中国伝来の製紙術を教えたとも言われる女神「川上御前」を祀る

護王神社も存在していた。そして、多くの製紙業者が、五箇村の山間の地で「鳥の子紙」などや、藩札用紙製造に従事していたのであった。

この地区が脚光を浴びたのは、慶応４年の明治新政府による「太政官札」発行に際して、福井藩出身の三岡八郎（後の由利公正）が、明治新政府に就職する以前において、福井藩士として藩札発行の業務に従事して、藩の財政健全化に成功した実績が評判となり、故坂本龍馬の推薦もあり、三岡八郎は新政府の太政官札製造発行担当の官職に採用された。三岡八郎は、故郷の福井藩士時代における緊急時の藩札製造の際の経験を生かして、明治新政府の不換紙幣である「太政官札」用紙の抄造を提言し、かつて藩札製造発行業務を行った際に依頼した五箇村の紙透き集団を活用したのであった。彼は福井藩周辺の多くの紙漉き場から、「楮」などの製紙材料をかき集め、大量の「太政官札」「民部省札」などの明治新政府発行の紙幣用紙の製造を専門に行ったため、五箇村は明治初期における新政府の紙幣用紙抄造の一大拠点となったのであった。そして、この用紙を用いて、太政官札の銅版印刷を請け負ったのは民間の銅版彫刻師・松田敦朝であり、彼は主に関西地区において銅版印刷を用いた藩札の印刷を多く請け負っていた印刷業者「玄々堂」の責任者であった。彼は雇用していた職員を総動員して、新政府の役人の監督下において、京都の御所内で、五箇村製の用紙を用いて大量の太政官札等を製造し新政府に納入した。



（図版）製紙の女神「川上御前」を祀る
福井県五箇村の大滝神社



（図版）太政官札発行の企画実行者
の三岡八郎



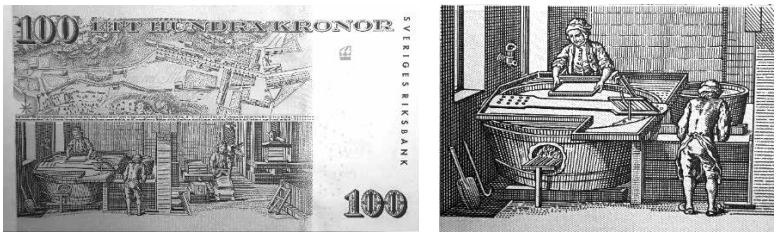
（図版）慶応４年発行の新紙幣
「太政官札拾両」

ヨーロッパにおける「すかしの技術」の歴史

ヨーロッパにおける「すかし」の技術は、主にイタリアの製紙メーカー・ファブリアーノ（Fabriano）社において 13 世紀頃に開発されたが、当初は、主に薄手の紙の片隅に白すかしを用いて、製造した同社の商標マークを抄き入れる技法であった。このすかしの製造技術は、紙幣や銀行券用紙の品質を保証するものとして、偽造防止対策効果が高いとして、ヨーロッパ各地の紙幣用紙メーカーに広く普及していった。例えば、初めての本格的な銀行券製造・発行を行ったスウェーデン銀行券の場合も、1666 年発行の銀行券用紙に、エンボス加工や関係者のサインのほかに、「白すかし模様」が採用されている。また、英国イングランド地方では、元来小切手や手形の用紙には、透かしを採用していたが、その抄き入れ技法はやがてイングランド銀行などが発行する銀行券にも採用されるようになった。

すかし入りの紙幣用紙が急速に普及拡大したのは、フランス革命後に発行された革命政権発行の「アッシニア紙幣 Assignat」であり、様々な図柄や文字が白すかしで入った紙幣用紙が幅広く採用された。当時の政府紙幣や銀行券では、まだ多色印刷はなく、もっぱら黒色インキを用いた人物像や文字などの図柄だけを印刷したものであり、1790 年以降発行のアッシニア紙幣では、「すかし」は革命の精神である「自由」「博愛」「平等」の文字をすき入れており、フランス革命の宣伝効果も高く、分かりやすい大切な偽造防止技法でもあった。

やがて抄き入れの技術は進歩を遂げ、用紙の紙層の一部を薄くして抄造する方式のそれまでの「白すかし」に加えて、逆に紙層を厚くする「黒すかし」の技法が開発され、やがて両者を巧みに組み合わせた「白黒すかし」を用いて、図柄や肖像を抄き上げる技法が開発され、次第に銀行券に採用される技法となり、広く世界的に普及するようになった。このように芸術性をも加味した「白黒すかし」は、今や銀行券にとって不可欠な技法となり、世界的に幅広く採用されている。



（図版）2005 年発行のスウェーデン 100 クローネ券「ツンバ製紙工場 250 年記念」の裏面、
溜め漉き法による紙幣用紙抄造作業工程の図柄を採用

そして、世界各国の銀行券では、凹版印刷による肖像や、多彩で精緻な地模様に加えて、最も大切な偽造防止対策として、白黒すかしが広く採用されるようになったが、やはり銀行券用紙のすかしは地味な技術であるためか、隠れた存在であった。一見してもはっきりと判別できないが、入念な調査や鑑定の際に役立つ隠れた存在となったものの、「すかし」は依然として大切な偽造防止技法として、各国の紙製の銀行券にとっては不可欠な技術となり、今日まで世界の紙製の銀行券に広く継続して使用されているのである。

最近では耐久性の面などから、ポリマー素材の銀行券が次第に多くを占めるようになってきたが、低額券にはポリマーを採用国するが、依然として高額券には紙製の用紙素材を平行使用している事例が多く、そこには伝統的な技法の一つとして、精緻な抄造技術を用いた「白黒透かし」が依然として採用されているのである。

もちろん、伝統的な白黒すかしであっても、その後いくつかの改善がなされており、より「高精細」で「シャープな画像」の白黒すかし（half-tone watermark）のほかに、肖像のすかしの脇に黒すかしを用いて点々の模様を採用している「ピクセル透かし（pixel watermark）」、更に肖像の「白黒すかし」の脇に額面金額の数字を「白透かし」を併用したエレクトロすかし（electrotype watermark）や、銀行券の四隅に棒状の黒すかしを用いた「コーナー・ストーン透かし（corner-stone watermark）」など、「すかし」の分野でも様々な新規開発や改造がなされている。



（図版）肖像の白黒すかし＋
派手な白すかし



（図版）肖像の脇の点状の
ピクセルすかし



（図版）平行棒状の黒すかしによる
コーナー・ストーンすかし

日本における「すかし」の歴史

次に日本における「すかし」の進化の歩みを見てみよう。

日本における紙幣の歴史を回顧すると、先ず江戸時代における「藩札」などに採用された偽造防止技術としての「すかし」は、大部分が簡易な模様の「白すかし」である。日本の藩札類は、楮などの粗い繊維を主とした材料を用いており、しかも藩札類の用紙の厚みは例外があるものの、耐久性の強化を念頭に、原則として流し透き技法を用いて製造した用紙を何層にも重ねたものが多く、薄手のものでも用紙の厚みが 300 ミクロン、厚手のものが約 700 ミクロンもある。一部の藩札では簡単な「白すかし文字や模様」を抄き入れているが、シャープさに欠け、はっきりとした文字や模様ではなく、「すかし」は藩札が偽造か、

どうかを識別する際の技術であったものの、あまり効果的なものではなかった。その技術を受け継いだのは江戸幕府末期の慶応３年に発行された「兵庫開港金札」であるが、厚さ約 500 ミクロンのお札を明るい方向にかざすと、不特定の位置ではあるが、「白すかし」による円形模様が観察される。しかし、この金札は戊辰戦争を目前にして、江戸幕府の権威が低下したため、殆ど使用されることはなかった。

明治新政府が慶応４年に発行した厚さ約 500 ミクロンの厚手の「太政官札」では、従来と同じ「麻や楮」の繊維を主体とした素材を使用しており、顕著な偽造防止効果はなかった。従来の一部の藩札に見られた簡易な「透かし」も、太政官札や民部省札、そして開拓使兌換証券などには全く採用されず、その後明治５年発行の開拓使兌換証券の裏面には、偽造防止のためにオーストリア製の証紙が貼付されたが、用紙自体は厚手であったため、当然ながら「すかし」は採用されなかった。

明治５年に発行されたドイツ製の新紙幣（通称「明治通宝札、またはゲルマン紙幣」）では、印刷面では優れた双龍や鳳凰の図柄、エルヘート凸版による精緻な地模様を多く採用しており、用紙の厚さは約 150 ミクロンであるが、紙幣用紙には「すかし」は用いていない。また明治６年に発行されたアメリカ製の「国立銀行紙幣（旧券）」でも、当時のアメリカの紙幣では「すかし」は用いていなかったため、同様に「すかし」なしであった。このような傾向は、初めての国産の西洋式紙幣である明治 10 ～ 11 年発行の「国立銀行紙幣（新券）」や明治 14 年発行の「改造紙幣（通称（神功皇后札）」１円券でも同様であった。



（図版）「すかし」がなかった「国立銀行紙幣（新券）」や「神功皇后札」１円

すかしの技術は「お雇い内国人」の貢献で成就

「すかし」採用の決め手となったのは、ゲルマン紙幣の紙質劣化であった。優れた凹版印刷による双龍や鳳凰の画像、細かい凹版印刷での微小模様、エルヘート凸版印刷による微細模様の優れた技術の採用は、当時ドンドルフ・ナウマン社に雇用されていたイタリア人凹版彫刻者・キヨッソーネの貢献が大きく、当時の日本の人びとを感激させた。しかし、大きな欠点は紙幣の紙質の劣化、破れなどの破損券の多発であった。日本人は江戸時代から丈夫な紙質を誇る「楮」を主体とした厚手の用紙素材を用い、しかも細長い形状の紙幣に慣れ親しんできた。しかし、ゲルマン紙幣など外国製の紙幣は紙質が弱く、更に紙幣を折り畳んで使う日本人の習慣から、ゲルマン紙幣では、用紙の破れ、破損などの劣化現象が顕著となった。当時紙幣寮で雇用していたお雇い外国人のキヨッソーネなどの技術者は、製版、インキや印刷技術の専門家であったが、紙幣用紙の専門家ではなかった。もちろんキヨッソーネは、紙幣用紙の改良に関するアドバイスも行なったが、当時西洋で広く採用されていた紙幣用紙の素材は、主として加工処理が難しい木綿や麻の繊維であり、彼はその加工技術はあまり知らなかったため、キヨッソーネからは「すかし」に関する適切かつ十分な指導が得られなかった模様である。当初の国産の国立銀行紙幣（新券）などは、その素材に雁皮 70 ～ 80%、みつまた 30 ～ 20% が用いられていたが、すかしは採用されていなかった。

紙漉き技術の完成には「お雇い内国人」が貢献

そのような状況の中で、紙幣用紙に関する画期的な技術指導を得られたのは、日本国内では著名な福井藩の紙漉きの五箇村において、越前和紙や太政官札の用紙の製造に従事してきた民間の製紙業者であった。紙幣用紙に微細な「透かし模様」を導入するためには、その素材に日本固有の「みつまた」の白皮の繊維を採用し、更に紙幣用紙の抄き入れ方法に「溜抄き法」を採用することであった。そこで、当時の大蔵省紙幣寮の第３代の紙幣頭・得能良介や、紙幣用紙製造を担当していた抄紙部の中村祐興部長は、紙幣用紙

の製造を外国に依存するのではなく、江戸時代以前から伝統的な技術を継承してきた福井県の五箇村において、溜抄き法を得意とする技術者たちから、その優れた製紙技術を導入することを決断したのであった。



（図版）紙幣寮に採用された
紙漉き技師・加藤河内



（図版）当時の
中村裕興・抄紙部長



（図版）明治期の印刷局・抄紙部の溜漉き法
による紙幣用紙の作業現場

紙幣寮・抄紙部では、当時高級紙である「越前鳥の子紙」の製造を行っていた「御紙屋」に着目し、明治８年に当時その責任者であった加藤賀門（後に加藤河内に改名、紙幣寮採用後に技師・判任官に任命される）と、その配下にいた紙漉き職人７人の集団を、言わば「お雇い内国人」として大蔵省紙幣寮・抄紙部の技術者として採用、その紙漉きの特技を習得したのであった。当時、郷土の五箇村では古来からの「紙漉きの秘法」を他に売り渡した不届き者として排斥され、悲しいことに加藤河内一門は一生涯、郷土の土を踏むことができなかったと言われている。その後、紙漉き職員を福井から追加して採用し、渋沢栄一が設立した王子製紙の工場の隣に設置した紙幣寮（印刷局）の抄紙部の製紙工場で､石神井川の清流を使用し､また日本の優れた紙幣用紙の材料である人工栽培の「みつまた」の加工業務、抄紙部での手作業による紙幣用紙の抄造を、そして遂に更に世界的にも誇れる芸術品とも言える「白黒すかし」の技術を確立したのであった。

作業性や品質面を考慮して、外国の紙幣用紙に採用されていた木綿は用いず、また日本で昔から広く用紙材料として採用されてきた「楮」や「雁皮」でもなく、漉き入れが容易な「三椏・みつまた」の繊維を採用したのが特記すべきことであった。紙幣用紙の材料に用いられた「みつまた」は、その繊維が細かく弾力性があり、しかも強靱な繊維であったほか、人工栽培が可能なものであった。印刷局では、短期間で最高品質を持つ「白黒すかし」入りの紙幣用紙を、更に熟練工による細かい透き桁用の金属製の「抄き網」を採用した「溜透き技法」を用いて、世界に誇れる優れた手漉き紙幣用紙を、短期間で完成させることができたのであった。また、この技術を用いて階調性に優れた「すき入れ美術紙」も数多く制作し、この芸術性豊かなすき入れ紙を愛好された明治天皇は２度紙幣局の抄紙部を訪れ、献上された「漉き入れ美術紙」を持ち帰られ、その優れた美術紙を堪能されたのであった。



（図版）設立当初の抄紙部



（図版）当時の王子周辺から見た
飛鳥山と手前に広がる抄紙工場



（図版）飛鳥山から抄紙部や王子製紙の工場を
見学される明治天皇ご一家（錦絵）

「みつまた」の素材や「溜抄法」を用いた最初の紙幣、銀行券

このようにして、加藤河内をはじめとする印刷局抄紙部の技術集団は、紙幣用の「すかし」の原版製造や手漉きによる「溜抄法」を用いて、短期間で優れたすかし入りの銀行券用紙を製造することに成功したのであった。もちろん当時の外国紙幣用紙は、イタリアやスウェーデンなどの紙幣用紙メーカーが、独特

な構造の金網に透かし模様をプレスした「溜抄法」の技術を用いて、西欧諸国の銀行券印刷会社や政府印刷局に対して、紙幣用紙の供給をしていた。しかし、日本の技術集団は同じような技術を更に改良した画期的な独自の技術を独自に開発して、外国製の銀行券に負けない「白すかし」「黒すかし」や、更に独特の階調豊かな「白黒すかし」を完成させたのであった。この技術は当時「秘訣法」と呼ばれ、当時の世界の「白黒すかし」の水準を遙かに超える極めて優れた特殊技法であった。

もちろんその技術は、年を追う毎に段階的に向上したが、我国で最初に透かしを採用した紙幣は、明治15年発行の「神功皇后札」5円券であり、当初は白すかしによる「蜻蛉と桜花一輪」の図柄であった。そして、明治18年発行の旧兌換銀券「大黒札」では全券種に採用され、例えば「大黒札1円券」では、上部に白すかしで「日本銀行券」の文字、券面四隅には白黒すかしで「花模様」が採用された。



（図版）明治18年発行の兌換銀券1円券



（図版）本格的「すかし」採用状態


（図版）全面的に採用となった
人工栽培が可能な
「みつまた」の樹木の枝

「すかし」を意識した銀行券のデザインへ

しかし、当初はまだ精緻な「すかし」とは言えなかったが、明治21年から24年にかけて発行された改造兌換銀券の用紙には、極めて精緻な抄き入れが施された。この時期の銀行券の場合は、意図的に「白黒すかし」がはっきりと識別できるように、券面に印刷図柄のない空白部分を設け、そこに明瞭な白黒すかし模様を採用、その「すかし模様」は透過光線下において容易に観察できたのであった。




（図版）明治22年発行の改造兌換銀券1円券とその白黒すかし




（図版）明治24年発行の超高額の改造兌換銀券百円券
「通称・めがね札」と精緻な白黒すかし

例えば「改造1円券」では、券面左の図柄や文字が少ない部分に、黒すかしで「銀貨壱円」の縦書き文字、その左脇に「桐葉」の白黒すかしを用い、明るい方向に紙幣をかざすと、はっきりした透かし模様を観察できる。また、最も優れた紙幣は、超高額（現在の価格では約200万円相当）の改造百円券で、中央に白黒すかしで「日本銀行」の文字、上方に黒すかしで「菊章」、白すかしで「桐章」が、極めてシャープに採用されており、今日でもびっくりする見事な出来映えである。

なお、このような精緻なすかしの技術が一般に普及して、偽造券が多発することを防止するために、政府は明治20年7月に勅令で「漉入紙製造取締規則」を制定し、黒すかし用紙の製造禁止や、紙幣などで用いられた文字に似た白すかしによる文字や模様を使用する際には、政府の許可を得る必要があることを定めたほか、この門外不出の技法を保持するために、漉き入れ技法に関して職員に守秘義務を課す措置を講じることとなった。

当時は全て手漉き作業であったが、昭和年間には機械抄造となり、現在では更に高速で高精細の銀行券用紙が、国立印刷局で製造供給されている。なお、偽造防止強化のため戦後には、この戦前の勅令が法律

化され、現在では昭和 22 年制定の「すき入れ紙製造取締法」によって、ほぼ同様の「すき入れ技術」に関する偽造防衛の措置が採られてほか、この技術は企業秘密となっており、非公開である。

甲券シリーズ以降、「すかし」は補助的となる

その後、明治 32 年に発行された金兌換の甲券シリーズでは、表裏の図柄が全面的に派手に印刷されるようになり、金貨と兌換できる旨の英文表記も併記されるようになったため、優れたすかしの技術は、言わば「隠れた存在」となり、紙幣の図柄や印刷技術の補助的手段になっていった。例えば、明治 32 年 4 月発行の「甲 5 円券」では、表裏一面が図柄で埋め尽くされ、よほど注意して観察しても、すかしの図柄が発見できないような状態となった。この間に写真製版術や亜鉛凸版印刷技術などが西欧から日本に導入され、一部の印刷業者は、紙幣の凹版印刷部分を剥がして、それをガラス板に貼り付け 、更にそれを金属板に貼り付けて凹版製版して贋札の版面を作って印刷するなど、精巧な甲兌換券の偽造が頻発する事態となった。

このような深刻な事態に対応して、大蔵省、日本銀行、印刷局の関係者や警察は、早急な偽造防止対策の強化を迫られ、そのため外国における偽造防止対策を調査研究することとなった。そこで印刷局の技師がドイツ等に調査のために派遣された。その結果ドイツにおいて 1905 年に発行された画期的な銀行券を発見した。その券面の一部には印刷のない「空白の大きな円形部分」を設け、そこに精緻な人物肖像の白黒すかしを採用、さらに黒色の凹版インキでは偽造されやすいため、当時では写真製版が困難な緑色を用いた凹版印刷の「10 マルク券」であった。その帰国後の報告を聞いた関係者は、これが 最も偽造防止対策として相応しい考え、当時の高橋是清･日銀副総裁や日銀幹部、大蔵省、警察、印刷局関係者が協議の上、これに類似した「窓開きの部分に精緻な白黒すかし」を導入した新券の発行方針を決定し、印刷局では早速製造に着手した。





（図版）明治 43 年発行の「乙 5 円券」と空白部の「大黒天のすかし」





（図版）参考とされたドイツの 10 マルク券、
空白部分に「商業神」の肖像入り

その結果発行されたのが明治 40 年 9 月発行の「乙 5 円券」（通称「透かし大黒」5 円券）で、券面左部分の円形空白部分に、「大黒天」の肖像を抄き入れたものであった。この 5 円券は、発券当局や印刷局の関連者が、こぞって推奨する優れた紙幣であった。しかしながら、当時は一般庶民に対する宣伝普及が極めて不十分であったために、円形の空白部分は「印刷漏れ」ではないかとか、更に偽造防止のために採用した緑色の凹版インキによる「菅原道真」の肖像が陰鬱な表情に見えたため、失意のうちに太宰府に流されて逝去した失意の忠臣・菅原道真の姿のように見えたため、「幽霊札」との風評が広がった。そのため、偽造防止対策に優れた銀行券ではあったが､政府､日本銀行は 5 円券の改刷に急いで取り組まざるを得ない情勢となった。もちろん精緻な白黒すかしであるために、この乙五円券の偽造券は全く発生することはなかった。

発券当局と印刷局は、当初 5 円券に続いて 10 円券も空白部分に「恵比寿」の肖像のすかしを入れる予定であったが､急遽その計画を取り止めて､当初予定したその空白部分に「和気清麻呂」の肖像を印刷したため、我国で唯一の「左肖像」の銀行券となったのである。

複雑な模様を用いた「すかし」に変化

空白部分のすかしを用いた銀行券に対する国民の不満に対応するために、それ以降発行の銀行券では再び、すかしの文字や模様は、補助的な偽造防止手段となり、注意して観察しないと「すかし」の模様が、直ぐには見えないように変化した。

大正 5 年発行の武内宿禰を肖像に採用した「丙 5 円券」では、白すかしによる「日本銀行」の文字のほかに、券面全体に網目格子状の白すかしを採用した。また昭和 5 年発行の聖徳太子肖像の「乙百円券」では、印刷された図柄に隠れてはっきりとは見えないが、透過光線の下で観察すると、「白黒すかし」を用いて、法隆寺所蔵の「小襠赤地錦の天平裂と鳳凰の図柄」を、少し離れた箇所に「高山植物の花模様」の図柄という、豪華な「すかし模様」を用いているのが特徴である。

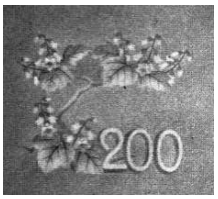



（図版）大正 5 年発行の 5 円券と、
その券面全体の白透かし模様と白黒すかし文字

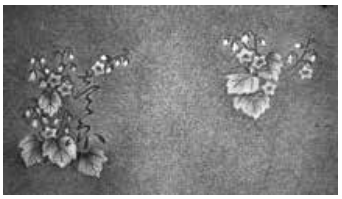



（図版）昭和 5 年発行の乙百円券と、
乙百円券に採用されている白黒すかし模様

その後、すかしに対する評価が再び高まり、銀行券の図柄の一部分に空白部分を設けて、そこに白黒すかしを用いる銀行券も多くなった。例えば昭和 17 年発行の「丁貳百円券」では、中央部分に白黒すかしで「桐の葉と 200」の数字を、昭和 20 年発行の「甲千円券」では 、中央の空白部分に「羽を広げた鳳凰の姿」と「斜線入りの 1000 の数字」を採用している。なお、昭和 18 年発行の管理通貨制度に移行して発行された「壱円券」でも、戦時体制や満州国などの銀行券製造という忙しく、厳しい製造環境ではあったが、印刷局では何とか努力を重ねて、空白部分に「桐の葉と花」の枝の図柄を採用したのであった。

（図版）昭和 17 年発行の丁 200 円券
中央部分に余白部を設け白黒すかしを採用

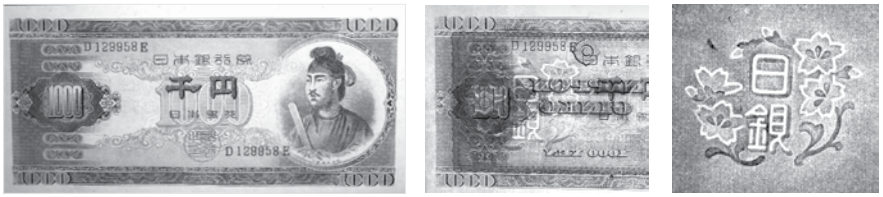



（図版）管理通貨制度下の昭和 18 年発行の「壱円券」と白黒すかし

戦後に発行された A 券シリーズでは、「A 百円券」を除き、低額の「A10 円券、A5 円券、A 壱円券」などでは、製造面での余力がなかったほか、戦災で民間の製版や印刷設備が壊滅的な打撃を受けたことから、偽造券が発生する余地が少ないこともあり、印刷方式が凹版ではなく凸版印刷となったほか、銀行券用紙の「すかし」も一切省略される事態が続いたのであった。

やっと銀行券に「すかし」が復活したのは、昭和 25 年発行の「B 千円券」からであり、左部分に「日銀の文字をはさんだ桜花」が白黒すかしで登場したことであった。しかしながら、B 券シリーズでは図柄が券面全体に隙間がない状態で印刷されていたため、「白黒すかし」はその図柄に埋没されてしまっており、偽造券かどうかを判別する際の検証するための存在となってしまった。

昭和 28 年発行の「B 百円」、26 年発行の「B 五百円券」では、「すかし」はまだ隠れた存在であり、また短期間だけ発行された昭和 26 年発行の「B 五拾円券」では、定位置すかしではなく、用紙全面に採用された「日銀マークと 50 の数字」の「流し透き」という変った技法の透かしが採用されたものであった。



（図版）戦後にやっと復活した「B 千円券」と、その透かし模様

空白部分を設け、人物肖像等をシャープに抄き入れた C 券シリーズ

昭和 32 年、33 年に発行された「C5 千円券」「C 一万円券」では、極めて精緻な人物肖像や建物の「すかし」がはっきりと識別できるように、印刷のない無地の部分を広く設けて、素晴らしい精緻な白黒すかしを観察できる体制が整った。その後昭和 36 年に発行された「C 千円券」では、左端部分に白黒すかしの肖像、昭和 44 年発行の C500 円券では、肖像ではなく、「桜花と曲線」の組み合わせた白黒すかしの採用と、すかしは再び偽造防止対策の優れた道具となったのである。

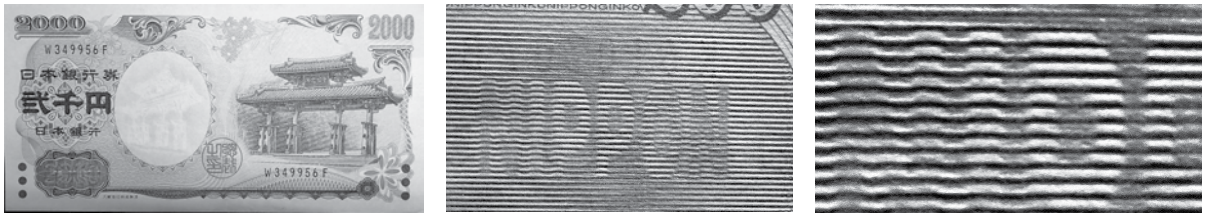


（図版）C 券シリーズでは、空白部分にシャープな白黒透かしを採用模様

昭和 59 年に発行された D 券 3 券種では、白黒すかしによる精緻な人物肖像を継続採用しているほか、新たに「すかし」を用いた視力障害者用の「識別マーク」を採用したことが特記される。しかし、すかしの識別マークは銀行券の流通頻度により、透かし模様が劣化したため、平成 16 年発行の E 券シリーズ以降では採用されず、凹版印刷による指感性に優れた「識別マーク」に変更された。そのほか、すかしの技術を応用して、券種判別用の棒状の白すかしが採用されたことが特記される。また、すかしの技術とエンボス加工による「特殊潜像模様」の採用も特記されるが、この技術は日本独自の特殊な難しい技法を用いものであるため、外国の銀行券関係の専門図書では紹介されてはいるが、外国紙幣では一切模倣されていない。



（図版）D 券シリーズで採用された透かしによる識別マーク　　（図版）その拡大



（図版）D2 千円券で初めて採用された「特殊潜像模様 NIPPON」とその拡大

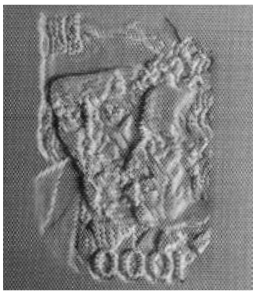
そして令和６年７月に発行された新しいＦ券３券種では、それまでの精緻な肖像のすかしに加えて、その周囲に連続した菱形の黒すかし模様を追加採用したことであり、これによってＦ券の偽造防止対策は一段と強化されたと言えよう。そのほか、すかしの技術を応用した券種別に異なる棒状の白すかし、特殊潜像模様など、従来のすかしの技術も継続採用されており、世界一優れた「白黒すかし」を誇る、日本独自の「優秀な銀行券」となっている。

世界各国の銀行券に見る様々な「すかしの技術」の歴史と現状

最初に、銀行券用紙のすかしの製造工程を見てみよう。銀行券用紙を製造する方式としては、丸網抄造方式と長抄き抄造方式があり、世界的には前者が大多数を占めているが、日本の紙幣用紙は独自の長抄き抄造方式を採用しているが、詳細は企業秘密である。そこで先ず丸網方式による用紙の抄造や透かしの工程を見てみよう。



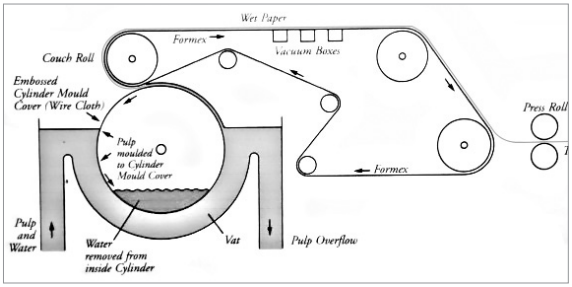
（図版）紙漉き銅製シリンダー



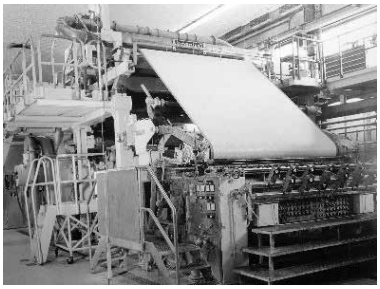
（図版）網シリンダーに、すかしの図柄を強圧でプレス加工した状態



（図版）「すかし」の状態



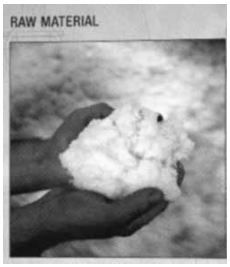
（図版）円網抄紙機の原理



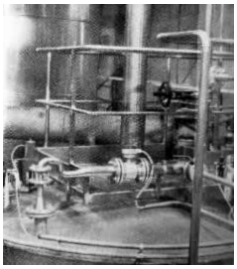
（図版）円網抄紙機の漉き入れ装置部分

もちろん抄紙機で抄造する前段階では、原料となる主として麻や木綿の繊維を、高温高圧で蒸煮し、繊維を細かく裁断、叩解し、抄紙機で透かし模様などが円滑に漉けるように、その前段には多くの作業工程がある。そして、細かくほぐされた用紙の繊維が抄造段階では約 1% となるように水で薄められ、大型円筒状のシリンダーを回転させて、すかしの模様や文字が紙幣用紙に入るように、円筒内部分の気圧を減圧して、用紙の繊維が網シリンダーに密着するように、網シリンダーを回転させて紙幣用紙を抄造するのである。その際、外国紙幣では多く採用されている埋没式あるいは窓開き安全線スレッドなどを挿入するのが通例である。なお、日本の印刷局では、その技術は既に開発済みであるが、製紙機械の改造に巨額の費用がかかることや製造面の理由から、スレッドは採用しない方針が確定している。

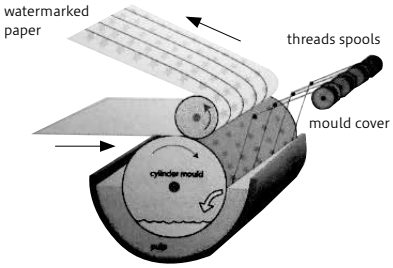
そのような方式が西欧諸国では一般的であるが、中には日本も含めて長いシリンダー上に叩解した紙幣用の繊維を流し、その後、特殊な装置でシャープなすかし入りの紙幣用紙を抄造する「長透き抄紙機」を採用している製紙工場も散見される。日本の場合は偽造防止対策上などの理由から、その製造工程は非公開となっている。



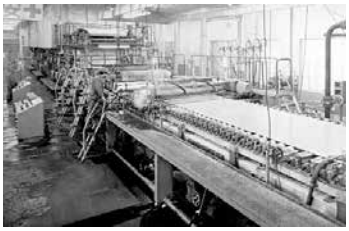
（図版）原料となる綿花の繊維



（図版）原料を叩解する装置



（図版）円網抄紙機の原理と、
その装置での安全線スレッドの挿入図



（図版）長抄きタイプの抄紙機



（図版）外国の透入れ用の銅製の細い網を組み合わせた金網に、
すかしの版面をプレスした状態と、その網の拡大状態

世界各国における透かし技術発達の歴史

古代中国において開発された紙漉きの技術は、シルクロードを通って中近東に伝わり、やがてスペイン経由で欧州各国に伝搬した。また、当初「すかし」の技術は、イタリアの製紙メーカーの「商標」であったが、やがて偽造防止対策として、イギリスをはじめ欧州各国の手形や小切手用紙に採用され、更に政府紙幣や銀行券の登場により、有効な偽造防止手段として、広く世界的に普及していった。

初期段階では、アメリカの独立戦争の際に「大陸紙幣（Continental Paper money）として知られる植民地政権下で発行の政府紙幣では、あまり明瞭な「すかし」ではないが、偽造防止対策として採用されている。その後、18 世紀後期のフランス革命当時から発行された紙幣では、革命政権がたびたび発行した「アッシニア紙幣（Assignat）」には、単に偽造防止が目的ではなく、フランス革命の目標スローガンである「自由、平等、博愛」の文字が、白すかしで抄き入れられたほか、文字や金額なども白、または黒すかしを用いて盛んに発行されたのであった。





（図版）1779 年発行のアメリカの大陸紙幣の表面、
採用された白すかし





（図版）フランス革命時のアッシニア紙幣と「すかし」
に採用された「自由、平等、博愛」などのスローガン

その後ヨーロッパ各地で発行された銀行券や政府紙幣には、偽造防止対策として、「すかし」が盛んに用いられるようになり、やがて「すかし」は銀行券に不可欠なものとなっていった。また、文字や符合、マークなど簡単なすかしだけではなく、人物肖像を正確に採用した白黒すかしが、その後、各国の銀行券に多く登場するようになり、現在では「白黒すかし」は銀行券には不可欠な存在となっている。

最近における世界の銀行券に見る「すかし」の傾向

世界の銀行券に採用されている「すかし」は、日本ほど優れたものはないが、様々なすかしのタイプを見ることができる。例えば、ユーロ券では、ヨーロッパを代表する共通の歴史上の人物として、ヨーロッパの語源ともなったギリシャ時代の女神「エウロペ（Europa）」の愛らしい姿がシャープに抄き入れられている。一方、アメリカの政府紙幣（Federal Reserve Note）では、従来から「すかし」を採用して来なかったため、ドル紙幣では、あまりシャープなすかしは採用されていない。





（図版）100 ユーロ券とそのすかし





（図版）アメリカ 100 ドル券とすかし

世界で広く採用されている「白黒＋白すかし」

最も典型的な新型すかしは、肖像などの白黒すかしの脇に、額面金額の数字や肖像人物の頭文字などを「白すかし」で添えたエレクトロ・タイプ（electro type）という方式であり、かなり多くの外国の銀行券に採用されている。この方式では、人物肖像の直ぐ側に、額面金額の数字や、肖像人物の名前のイニシァル文字や模様などがはっきりと見える「白すかし」を伴っているため、すかしの存在がはっきりするという特徴があるため、最近では肖像の側に「白すかし」を使用する事例が多くなっている。





（図版）アルゼンチンの銀行券と白黒＋白すかし



（図版）ウルグアイのすかし

増加傾向にある「ピクセル透かし」

次に多いのは、「ピクセル透かし（pixel watermark）」であり、肖像人物の側に、小さな「黒すかし」の点々を用いて、人物に関連する画像や模様などを抄き入れている技法である。この技法によって、肖像人物に関連する図柄や模様を追加し、特に「すかし」に関心を深めさせるため、偽造防止効果が大きいとされている。





（図版）マレーシアの銀行券と肖像脇のピクセルすかし



（図版）ボリビアの事例

黒すかしを用いた「コーナー・ストーン」すかし

そのほか、主に英国のデラルー社が製造している銀行券では、券面の四隅に棒状の黒すかしを用いたコーナー・ストーン（corner stone）という技法を採用する事例が多い。銀行券の四隅は、使用中に折れて破れるなど、銀行券用紙の損傷の可能性が大きいため、紙質の強化と偽造防止を目的として、通常のすかしのほかに、紙の厚みが厚い黒すかしを採用したものであり、一種の紙質強化策ともされている。



（図版）スリランカの銀行券とサモアの銀行券のコーナー・ストーンすかし

各国の銀行券に見る珍しい「すかし」の事例

そのほか、一部の銀行券では、意図的に「白すかし」のみを採用し、あるいは券面全体に格子状の白、または網点状の黒すかしをのみを使用する事例も見られる。一般に、白すかしだけの場合は、油脂分を塗って「すかし部分」を偽造するとか、黒すかしでは銀行券の裏面に淡い灰色インキで肖像などを印刷して、すかしに似せる偽造もあると言われているが、そのような偽造はあまり多くはみられない。



（図版）「白すかし」だけの
シリア銀行券



（図版）「黒すかし」のドットで
構成したソマリアの銀行券



（図版）券面全体にすかしを
施したカンボジアの銀行券

なお、最近増加傾向にある一部の合成樹脂のポリマー製銀行券では、ポリマー素材自体に「すかし」を入れることが技術的に困難である。しかし、「すかし」に対する要望が強いためか、紙製の銀行券と同様に、ポリマー紙幣にも、採用が困難とされる「肖像のすかし」「安全線スレッド」の模様を求めて、すかしではなく、印刷方式による「疑似すかし」を、券面に印刷している事例も比較的多くなっている。



（図版）ベトナムの 50 万ドン券



（図版）券面左部分の肖像の疑似すかし

そのほか、世界には様々なすかしの技術を用いた銀行券が存在するが、いずれにしても、「すかし」は、用紙の製造段階で採用するものであるため、印刷やカラー複写機等によって偽造することは難しく、また特殊な器機を使用しなくても、銀行券を明るい方向にかざして観察すれば、容易に「すかし」の有無が判別できるため、銀行券の真偽判定が容易な技法として、技術革新が進む今日にあっても、銀行券には不可欠な存在となっている。

なお、最近では新しい偽造防止対策として、「電子透かし（digital watermark）」という言葉を耳にすることが多くなっているが、これは紙幣用紙の「すかし」とは全く関係がなく、印刷された銀行券の図柄の中に特殊な文字や模様などを埋め込み、特殊なコンピュータ・ソフトの技術などを用いてのみ、その隠され

た複製不可能な暗号や模様などが検知できる非公開の偽造防止対策であり、既に電子透かしを採用した銀行券を発行している事例も見られる。

世界の銀行券の多くは、用紙と印刷を別の機関で製造

日本の印刷局では、明治の創業当初から、銀行券用紙の抄造と印刷を一貫して製造してきており、そのため常に両部門の緊密な連携の下に、新しい銀行券技術の開発と製造に従事してきており、今日の優れた日本の銀行券を生み出してきているのである。日本のように用紙から印刷までを一貫して行っているのは、中国、韓国、インドネシア、インドなど、比較的近世において銀行券を開始した国が多い。一部には長い歴史を持つロシア、スペインなどもあるが、多くの歴史の古い国では、伝統的に紙幣用紙の製造会社と、銀行券印刷会社や機関では、それぞれ異なる組織であることが多い。

例えば、英国の歴史の古いデラルー社（De la Rue）では、同国のポータルス製紙会社（Portals）と、ドイツの著名なギーゼッケ社（Giesecke und Devrient）では、同国のルイゼンタール社（Lousenthal)、アメリカの財務省證券印刷局（BEP）は、同国のクレーン製紙会社（Crane）とそれぞれ提携関係を持ち、技術開発を行ってきた歴史を持つ。

最近では、伝統的な紙幣用紙の製造各社と、合成樹脂のポリマー素材を用いたカナダの CCL 社、英国のデラルー社、豪州の NPA 社との間で、伝統的な紙製か、あるいはポリマー製の銀行券を巡る競争も激化している。

そのほか、キャッシュレスの進行もあり、このような厳しい競争関係の下で、世界各国の製紙会社等では、省資源やコスト削減、更に偽造防止対策の強化を進めている。このような条件下でも、芸術作品とも言える「すかし」について、更に一層の進化が予測される。銀行券・紙幣の収集家の皆さんも、今後発行されるであろう新しい「すかし」についてご関心を持って下さい。

（筆者：紙幣研究家　植村　峻　元大蔵省印刷局勤務、元印刷朝陽会勤務）

参考文献

潘　　吉星　　「中国製紙技術史」佐藤武敏・訳　平凡社　1980 年
植村　峻　　「紙幣製造の近現代史」吉川弘文館　平成 17 年
宍倉　佐敏　　「和紙の歴史　製法と原材料の変遷」 印刷朝陽会　2006 年
森本　正和　　「お札の紙から見た紙の世界」印刷朝陽会　2004 年
全国手漉き和紙連合会 「和紙の手帳」 1988 年
小宮　英俊　　「世界の手すき紙」紙業タイムス社　特殊機能紙　1997 年
大蔵省印刷局　「創立 125 周年記念　明日のために今：夢刷り人」 1996 年
大蔵省印刷局　「矢野道也伝記並論文集」 昭和 31 年
画像電子学会　「電子透かし技術」 2004 年
農文協・地域資源を活かす生活工芸双書 「楮・三椏」 2018 年
大蔵省印刷局　「大蔵省印刷局百年史」 第 1 ～ 3 巻　1971 ～ 72 年
　　「写真でみる 100 年の歩み」 昭 47 年

第 36 回東京国際コイン・コンヴェンション即売品の一部



天保五両判金
極美品 鑑
220 万円



元禄小判金 長元 無刻印
極美品 鑑
300 万円



正徳小判金
極美品 鑑
300 万円



文政豆板銀 大字寶 8.3g
美品~極美品 鑑
45 万円



竜 50 銭銀貨 明治 10 年
上切り 美品 鑑
75 万円

オンラインショップ 毎月 20 日更新
https://sekiguchicoin.com

ブース No. H1 ~ 4

日本の古銭・世界のアンティークコイン セキグチ
SEKIGUCHI
ANTIQUE COINS

〒371-0033 群馬県前橋市国領町 2-1-8 TEL: 027-232-5789

第 36 回東京国際コイン・コンヴェンション



①享保大判金 元書
鑑 720 万



②印子金 舟型 371.5g
1,100 万



③貿易銀 明治 9 年 MS62
120 万



④試鋳貨 明治 3 年 1 銭銅貨 AU55
120 万



⑦タイ 4 バーツ銀貨 1864 年
ラーマ 4 世 鄭明通宝 AU58
1,100 万



⑧タイ 2 バーツ銀貨 1863 年
ラーマ 4 世 MS65+
780 万



⑨裏紫 100 円札 アラビア数字 未使用 160 万



⑩旧国立銀行 5 円札 第 15 銀行 東京 150 万



⑤試鋳貨 大正 5 年 1 銭銅貨
ノーマンジェイコブス旧蔵品 MS64 560 万



⑥丸福金貨
200 万

ブース No. K1 ~ 3

(株)野崎コイン

https://www.nozakicoin.jp/

〒164-0001 東京都中野区中野 5-52-15 ブロードウェイセンター 2 階 TEL03-3389-5958/FAX03-3389-5959

第 36 回東京国際コイン・コンヴェンション



①万延大判金 吉安大 鑑
PCGS MS62
650 万円





②佐渡小判金 高神 鑑
570 万円



③慶長小判金 前期
座人棟梁印落ちエラー 鑑
PCGS MS62 390 万円



④明治 7 年 新 1 円銀貨 後期深彫
PCGS MS64 680 万円



⑤佐渡一分金 無刻印 鑑
320 万円



⑥古和同銀銭 縮字 鑑
極美品 360 万円



⑦旧国立銀行券 5 円札
美品＋148 万円

ブース No.N8～10

有限会社モリシタ　時遊屋

〒466-0834　愛知県名古屋市昭和区広路町石坂 2-1 イオン八事店 4 階
営業時間　10:00～21:00　年中無休　TEL/FAX 052-836-7977

https://jiyuya.co.jp/

日本貨幣商協同組合主催催事スケジュール

◎大　阪　2025 年 6 月 20 日（金）～ 6 月 22 日（日）3 日間
「第 23 回大阪コインショー」
ＯＭＭビル 2 階Ａホール

◎名古屋　2025 年 8 月 16 日（土）～ 8 月 18 日（月）3 日間
「第 7 回名古屋コインショー」
ウインクあいち 6F 展示場

◎大　阪　2025 年 10 月 3 日（金）～ 10 月 5 日（日）3 日間
「第 59 回おおさか大収集まつり」
心斎橋御堂筋ビル９Ｆ　御堂筋ホール心斎橋（大丸向い、ＯＰＡのとなり）

◎東　京　2025 年 11 月 7 日（金）～ 11 月 9 日（日）3 日間
「第 23 回東京コインショー」
大手町サンケイプラザ３Ｆ

HKCS®
香港國際錢幣聯合展銷會
THE HONG KONG COIN SHOW (HKCS) EST. 2016

The 12th Hong Kong Coin Show
第十二屆香港國際錢幣聯合展銷會

04 - 06 APRIL 2025

尖沙咀美麗華酒店18樓
18/F, The Mira Hong Kong
Tsim Sha Tsui

Tickets Now on Sale
門票現正公開發售

EARLY BIRD DISCOUNT

SCAN ME !

Coins, Banknotes & Collectibles Gala :
錢幣、紙鈔及收藏品盛會:
"THE WORLD IN YOUR COLLECTION"
「千里之行・始於珍藏」



More than 100+ Top notch exhibitors
from more than 40+ regions
逾100+ 頂級錢幣展商來自超過40個地區參展

PMG/ASG/PCGS 現場評級
Onsite Grading Service

Jointly organized by:
聯合舉辦:
Stack's Bowers AND PONTERIO
廣銀閣 Coin In Coin
首席收藏 SHOUXI.COM

Sponsors by :
大會贊助商
CERTIFIED COLLECTIBLES GROUP
PCGS ASIA
TRIGOMETRIC
新世紀錢幣鈔票 New Century Coins & Notes

info@hongkongcoinshow.com
Wechat:@hongkongcoinshow
Whatsapp +852 9127 7743
www.hongkongcoinshow.com

世界のコインで社会貢献

日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

—— 赤十字社コーナーで世界のコインを配布します ——

東京国際コイン・コンヴェンション会場の日本赤十字社コーナーにおいて日本貨幣商協同組合の協力のもと海外旅行者など、様々な皆様から善意の寄付として寄せられた世界のコインをパッケージにして、会場を訪れた皆様に配布し、ご寄付を募ります。

集められた寄付金は全額、人間のいのちと健康を守る赤十字活動に役立てられます。

コインコレクターのあなたも是非、このコインを通じたチャリティー活動にご参加、ご協力ください。

人間を救うのは、人間だ。 Our world. Your move.

日本貨幣協会

会長　小川　隆司

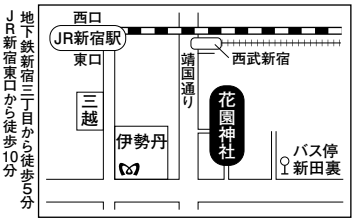
「貨幣」研究・収集の楽しみ



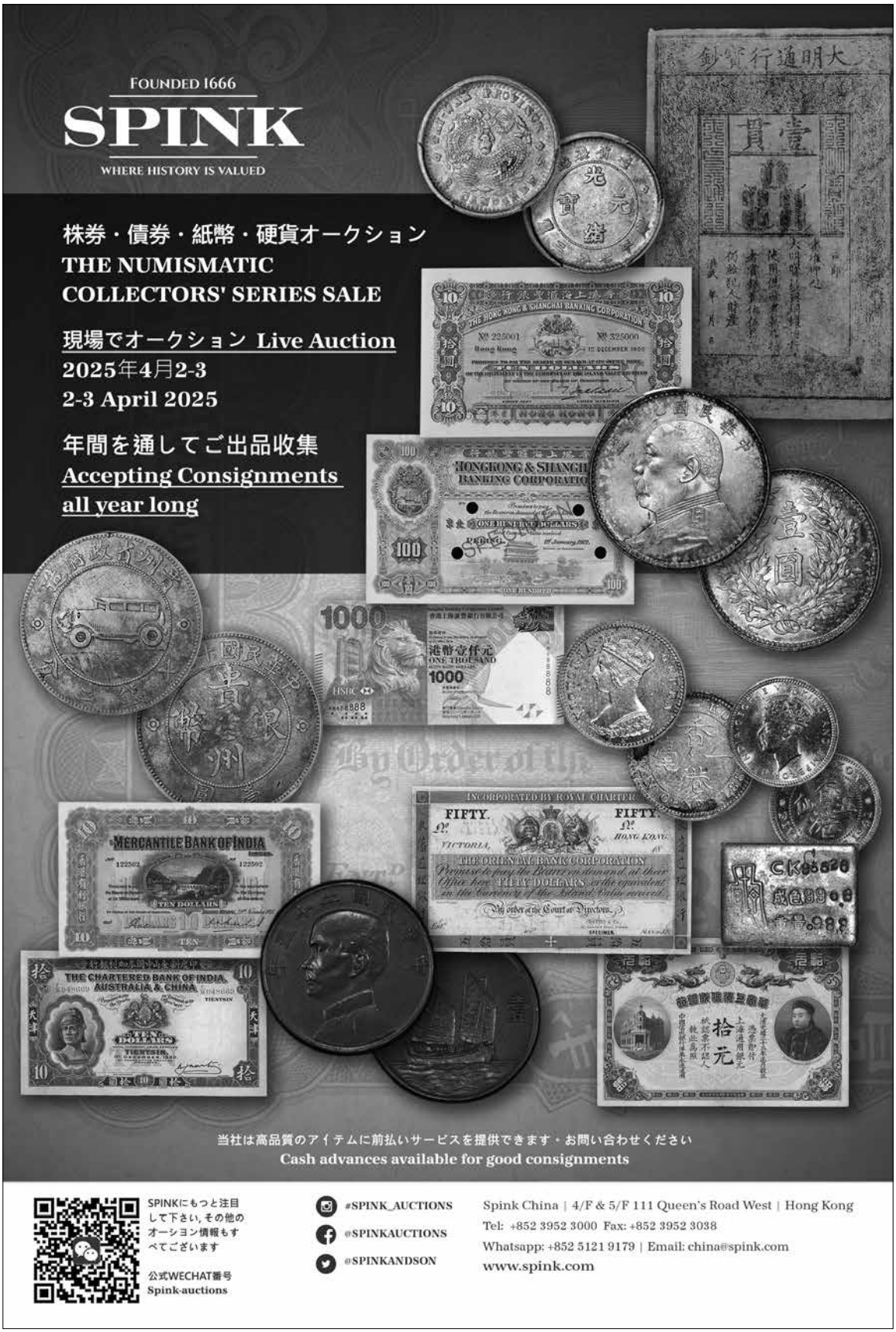
－入会のご案内　会誌「貨幣」を定期的に刊行。年6回。
年会費¥5,000で会員資格が得られます。

「日本貨幣協会」入会の申し込み先及び問い合わせ先
〒243-0413　神奈川県海老名市国分寺台1-15-14
事務局　吉田 守　TEL　090-7839-4437

例会々場
毎月第2日曜日午後1時に開催
東京都新宿区新宿5-17-3
花園神社内・花園会館（社務所）
☎（03）3209-5265



ブース No.R2


FOUNDED 1666
SPINK
WHERE HISTORY IS VALUED
株券・債券・紙幣・硬貨オークション
THE NUMISMATIC
COLLECTORS' SERIES SALE
現場でオークション Live Auction
2025年4月2-3
2-3 April 2025
年間を通してご出品収集
Accepting Consignments
all year long
当社は高品質のアイテムに前払いサービスを提供できます・お問い合わせください
Cash advances available for good consignments
SPINKにもつと注目して下さい, その他のオーション情報もすべてございます
公式WECHAT番号
Spink-auctions
#SPINK_AUCTIONS
@SPINKAUCTIONS
@SPINKANDSON
Spink China | 4/F & 5/F 111 Queen's Road West | Hong Kong
Tel: +852 3952 3000 Fax: +852 3952 3038
Whatsapp: +852 5121 9179 | Email: china@spink.com
www.spink.com

SCAN ME
アプリ

Stack's Bowers
AND PONTERIO

SCAN ME
サイト

あなたのコレクションを世界へ！
香港・アメリカ・ヨーロッパオークション委託受付中



China, Republic. 5 Chiao, 1948.
PCGS SP55.



China, Republic. 1 Dollar,
1928. PCGS SP62.



China-Chekiang. 20 Cents,
ND(1902).PCGS SP67.



NETHERLANDS EAST INDIES.
Crown (48 Stivers), 1646.
NGC AU Details--Edge Damaged.



China-Shantung.
10 Dollars, 1926.
PCGS SP64+.



ANNAM. "Prosperity and
Longevity" 5 Tien, ND (1841-47).
Thieu Tri. PCGS MS-61.



Hong Kong. 1 Dollar, 1864.
PCGS PR53.



THAILAND. 8 Baht (Tot),
ND (1863). Bangkok Mint.
Rama IV. NGC MS-63.



KOREA. 5 Yang, Year 501 (1892).
Incheon Mint. Kojong (as King).
PCGS MS-61.



Chartered Bank of India,
Australia and China, 100
Dollars Color Trial Specimen,
1912. PMG 61.



Yu Chuan Honan Official Bank,
1 Tael, 1905. PMG 30.



Hongkong and Shanghai
Banking Corporation,
5 Dollars, "Water Carrier",
Colour Trial, 1906.PMG 55.



People's Bank of China.
10,000 Yuan, Specimen, 1951.
PMG 63 & 64 EPQ.
Ex. W. H. Lu Collection



Deutsch-Asiatische Bank,
25 Dollars, Specimen, 1907.
PMG 58.

国際的な注目・専門家のサポート・最高の結果を目指す

オークションのスケジュールや展示会の詳細については、お問い合わせください。（日本語対応可）

Unit 2202-03, 22/F Mira Place Tower A, No. 132 Nathan Rd., Tsim Sha Tsui, Kowloon, HK | www.StacksBowers.com |
+852.2117.1191 香港 | InfoHK@StacksBowers.com

ブース No.G7

世界＆古代コイン
プラチナセッション＆シグネチャー オークション
HKINF – 香港 | 6月 18日～20日

HKINFオークションのハイライト
全てのロットを閲覧・入札 HA.com/3124



香港: 英国植民地時代 ヴィクトリア・ドル、1867年
MS63 NGC
エターナル・コレクションより



日本: 試鋳貨 50銭、明治9年 (1876年)
PR65 NGC
エターナル・コレクションより



タイ: ラーマ4世 2バーツ (1/2 Tamlung)、ND (1863年)
MS66 NGC
エターナル・コレクションより



中国: 清朝 徳宗の刻印 大銅銭、ND (1887-1898年)
Gong Bo Grading社 90鑑定
W&Lコレクションの中の逸品



中国: 中華民国 黎元洪1ドル、ND (1912年)
MS65 NGC



中国: 中華民国 袁世凱 20ドル金貨、民国8年 (1919年)
UNC Details NGC

ヘリテージ・オークションズ・ジャパン株式会社
松本 麻生 | マネージング・ディレクター | 03-6257-1131
MaiM@HA.com | HA.com/Japan

HERITAGE AUCTIONS
THE WORLD'S LARGEST NUMISMATIC AUCTIONEER

BP 20%; see HA.com. 82428

SOVEREIGN RARITIES LTD

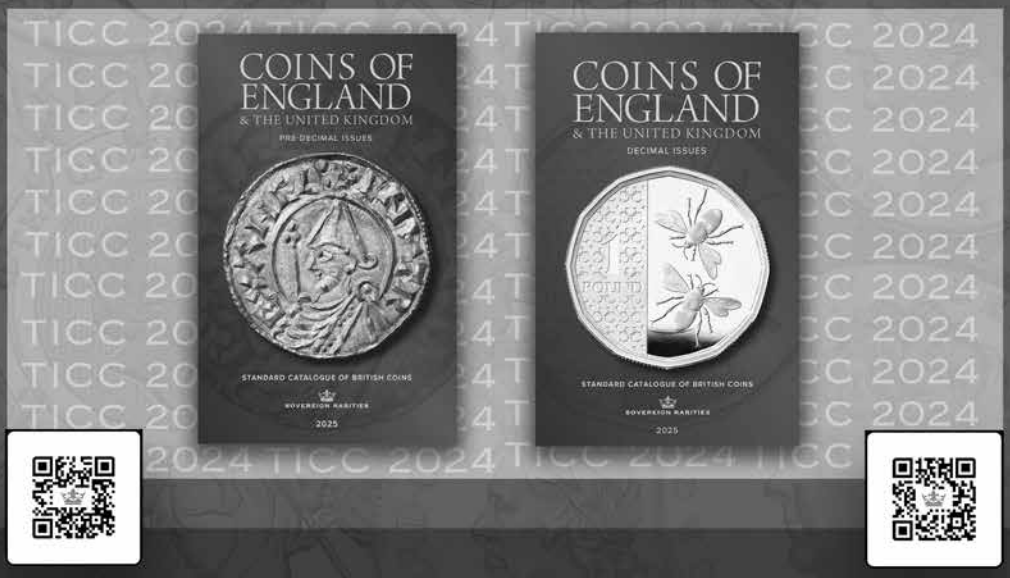
最高級のコインを扱ってきた100年以上の経験を結集







第 36回東京国際コイン・コンヴェンション



17-19 MADDOX STREET, LONDON, W1S 2QH

INFO@SOVR.CO.UK TEL: +44 (0)20 3019 1185

WWW.SOVR.CO.UK

BNTA

Japan's First Digital Authentication



ブロックチェーン技術による
貨幣デジタル（NFT）鑑定書

※ JNDAオリジナルカード（画像はイメージです。）

詳しくは、P.19 をご覧ください。

日本貨幣商協同組合
〒105-0004 東京都港区新橋 2丁目16−1 ニュー新橋ビル 409号
URL：https://www.jnda.or.jp/

Numismatica Ars Classica NAC AG

David Guest Numismatics と提携

コインオークション



トラベラー コレクション

大英帝国コイン 第一部

NAC
Numismatica Ars Classica NAC AG
LONDON - ZURICH - MILAN - CHICAGO

スイス・チューリッヒにて開催
2025年5月18日～20日

Eur-Seree Collecting Co., Ltd.

BANGKOK AUCTION HOUSE

AUCTION - BUY - SELL - PRIVATE TREATY

Stamps - Coins - Banknotes - Documents - Arts - Antiques



1941 ～ 1944年、軍事郵便所の郵便印(カタカナ文字)のあるはがきや
日本、タイ郵便の切手付き封筒などのタイ国内の郵便物を買取しています。

タイ国内最大の収集グッズ入札情報サービスの株式会社
ウアセリーオクション（タイ王国）買取・販売・入札・高額査定

Rare Asian materials

Auction at least 3 times annually

World records and high prices regularly achieved

Call for FREE Appraisals & Consultations

All deals will be treated as "STRICTLY CONFIDENTIAL"

"Put the trust on the professionals, we will put more value in your collections"

"วางใจในมืออาชีพเท่านั้นที่จะทำให้คอลเลคชั่นท่านมีค่ามากกว่าที่ท่านคิด"

Visit us
TICC 2025
ブース
No.R1

Ask for free sample catalogue of next sale

EUR-SEREE COLLECTING CO., LTD.
1256/8 NAKORNCHAISRI ROAD,
DUSIT, BANGKOK 10300
THAILAND

ID: eurseree
Tel: +66 2 243-1789, Fax: +66 2 243-4764 or +66 2 669-2043
e-mail: auction@eurseree.com website: www.eurseree.com

บจก.เอื้อเสรี คอลเลคติ้ง
1256/8 ถนนนครไชยศรี
เขตดุสิต กทม 10300

HIGHLIGHTS OF OUR LAST BERLIN AUCTION SALE 418

KÜNKER



Lot 158 - Kingdom of Prussia
Wilhelm I, 1861-1888. Gold medal in the weight of 120 Ducats 1871,
by E. Weigand and F. W. Kullrich. Generals' medal for victory over France.
Only 25 gold medals struck. Of the highest rarity.
Attractive piece in the finest condition. Uncirculated.
Estimate: 75,000 euros, Hammer price: 125,000 euros

36th TOKYO INTERNATIONAL COIN CONVENTION
April 26-28, 2025



Lot 89 - Wallenstein
Albrecht, 1623 - 1634, Duke of Friedland. 10 Ducats 1631
(year changed in the die from 1630), Jitschin. Extremely rare.
Tiny edge fault, attractive piece. Extremely fine.
Estimate: 100,000 euros, Hammer price: 240,000 euros



Lot 458 - Kingdom of France
Louis XV, 1715 - 1774. Pattern-Ecu au bandeau 1740 A, Paris.
Of the highest rarity, especially in this condition.
NGC PF62 CAMEO. Cabinet piece. Proof.
Estimate: 125,000 Euros, Hammer price: 140,000 euros



Consign now to our upcoming Auction Sales

Have you inherited a collection and wish to sell your coins? We would be happy to provide information about consigning your coins to one of our auctions.

We uphold the highest standard of research and presentation in our catalogues. You may rest assured that your material will be showcased in a professional and attractive format to thousands of customers throughout the world.

The Künker Guarantee: When you purchase a coin, medal, medal of honor or other item, you can be sure: all the pieces correspond to their description, and we guarantee the authenticity without a time limitation!

Fabian Halbich
fabian.halbich@kuenker.de
Call +49 541 96202 0
www.kuenker.com

Fritz Rudolf Künker GmbH & Co. KG
Nobbenburger Straße 4a · 49076 Osnabrück, Germany
Tel.: +49 541 96202 0 · Fax: +49 541 96202 22
service@kuenker.de

どのヴィクトリアがお好みタイプ？

古代から現代まで、コインの歴史 2700 年…
私たちは資産としてのレア・コイン、クラシック・コインのコンシェルジュ！



イギリス 5 ポンド 1839 年 プレーンエッジ W&R-277 “R6“



イギリス 5 ポンド 1839 年 プレーンエッジ W&R-280 “R7“

普通（レタードエッジ , 文字縁）のウナライオンとの違いがおわかりですか？両品ともプレーンエッジで現存２～５枚のウナライオンの ” 女王 ” 様ですが、問題はそこではありません。右側の ”W&R-280” は ” ありふれた ” 品と比べ、肖像面は若干異なるタイプですが、ウナライオンのデザインは通常の品と同じです。それでは左側の W&R-277 は？詳細は当社までお尋ねください……



イギリス 1837 年 W&R-295”R5”



イギリス 1837 年 W&R-298”R6”



オーストラリア 1856 年 シドニー type2

1837 年 6 月 20 日、ヴィクトリアはハノーヴァー朝第 5 代として 18 歳で即位した。戴冠式は 1 年後に催されたが、1837 年銘は 4 種のソブレン金貨と 2 種のグロート銀貨のプルーフ貨のみが存在する。全て ”R5” か ”R6” のほとんど入手の見込みのない、W. ワイヨンによる試作貨で現存 5 枚前後のウルトラレアである。TV ドラマの ” ヴィクトリア女王 ” で、女官が「女王陛下のコインが出来ました」と彼女に見せるシーンがありましたが、ご紹介の金貨に相違ないと思われる。

1851 年にゴールドラッシュが発生したオーストラリアでは 1853 年に最初の金貨が試作され、1854 年から通常貨がシドニーのみで製造された。L.C. ワイヨンの製作による本品は 1857 年から製造されたシドニー type2 の試作貨で 1856 年銘は 3 点のみ知られている。



カナダ , ニューファウンドランド
50 セント 1870 年 プルーフ
現存数点



香港
50 セント 1868 年 プルーフ
この年号の現存数は民間では 2 枚のみ！



(1/2)

香港 試作 1 ドル 1863 年 “ 香港一仙 ”
開局に先がけてロイヤルミントで製造されたこの試作貨は漢字を採用した世界初の銀貨。このゴシックタイプは現存 5 枚以下と考えられる。



(1/2)

香港開局記念
銀貨 5 種プルーフセット
贈呈用ケースも中国工芸品として一級クラス！

The Rare Coin Specialist

BUY&SELL ～ 資産性コイン50 年の実績

あたりまえの ” 希少品 ” はもとより
絶対的な激レア品を常に追求しています。

レアコインの最新情報と国際相場、取引方法とお見積り等はぜひ当社のスペシャリストまで ...

当社ではコイン販売のセミナー、勧誘はしておりません。本当に価値あるコイン投資は個々の投資家の目的・ニーズにより異なるからです。資産保全のためのカウンセリング、アドバイスは随時承っておりますのでお尋ねください。

NGC・PCGS 公式認定ディーラー

WORLD COINS JAPAN

1-15-5, HAMAMATSUCHO MINATO-KU,
TOKYO 105-0013 JAPAN
www.coins.co.jp
TEL 81-3-5777-0351 FAX 81-3-5777-0352
info@coins.co.jp

〒105-0013 東京都港区浜松町 1-15-5 コープ浜松町 2 階 株式会社 ワールドコインズ・ジャパン
TEL 03-5777-0351
FAX 03-5777-0352
オークション・ワールドもよろしく！

















【①③⑦は縮小図】

リスト

①	天正大判金　書改	美　鑑	1,100万
②	旧20円金貨	未　鑑	1,050万
③	大珍品！幻の裏白200円札	極＋　鑑	750万
④	新20円金貨　昭5（財務省）	未	780万
⑤	新5円金貨　昭5（財務省）	未	530万
⑥	八咫烏50銭銀貨　大8　NGC PF63CAM		590万
⑦	大珍品！野口1000円札最終番号 ZZ900000Z　黒色	未	180万
⑧	珍品！エラー貨　現行50円白銅貨　昭53　NGC MS66		120万
⑨	古代ギリシア シラクサ　デカドラクマ銀貨 B.C. 405-370　41.16ｇ　VF+		550万
⑩	英国チャールズ王5ポンド試作プルーフ貨 3点セット　2024　唯一品　完未		420万

その他新入荷商品多数あります。
弊社ホームページより商品画像をご覧いただけます。

ブース No.K7～10

大切な収集品・重複品の処分をご検討の際は、是非弊社にご相談ください。

㈱新橋スタンプ商会
Shinbashi Stamp Co.Ltd.
本社　〒105-0004 東京都港区新橋2-5-6　大村ビル3階
●営業時間／10時～17時 ■休業日／日曜・祝日
0120-478-548
mail@shinbashistamp.co.jp
WEB https://www.shinbashistampshokai.com

札幌支店
〒054-0804　北海道札幌市中央区南4条西6丁目 寺田ビル1F（東向）
■ 営業時間／10時～18時
■ 休 業 日／日曜日（臨時休業有）
shinbashi-stamp-coin@mountain.ocn.ne.jp
0120-936-136



TICC ではブース No.B7~10　銀座コインへお越し下さい。

銀座コイン
GINZA COINS

コインの専門店・銀座コインは江戸時代に造幣局があった銀座で古貨幣の売買一筋に57年。国内外のたくさんの貨幣を展示販売している楽しいお店です。コレクションを始める際のアドバイスや、お手持ちの貨幣を鑑定・評価し買取りのご相談も受け付けています。
是非一度足をお運びいただけますと幸いです。

東京都中央区銀座5-1 銀座ファイブ 1F
TEL. 03 - 3573 - 1960
営業 11:00 ~ 18:30





コーポレートサイト：
https://ginzacoins.co.jp

通販サイト：
https://shop.ginzacoins.co.jp

書籍紹介



「お宝貨幣なんでも読本」
好評発売中！
著者
㈱銀座コイン 会長 竹内俊夫
（人気TV番組「開運なんでも鑑定団」鑑定士）

出品受付中

第37回 銀座コインオークション　●令和7年11月15日(土) ●東京・帝国ホテル

「銀座コインオークション」は一定の手数料で、お手持ちのコレクションを公正にご処分いただける場所です。
国内外の貨幣すべてを対象としております。ご出品をご希望される方はお気軽にご相談下さい。

Daruma
INTERNATIONAL GALLERIES

ブース
No.H7～10

コインのご相談はダルマへ
Let's Enjoy Coin Hunting with Me !

第61回 日本コインオークション

◆e-ライブ開催日：2025年6月14日(土)
◆フロア・ライブ開催日：2025年6月15日(日)　◆場所：品川プリンスホテル メインタワー

E-mail：info@ncanet.co.jp ／ URL：www.ncanet.co.jp



神聖ローマ帝国　マキシミリアン2世
10ダカット金貨　ND（1567年）
唯一品



チェコスロバキア
10ダカット金貨　1934年
クレムニカ鉱山再開　発行枚数：68枚
NGC　MS63



ドイツ　レーゲンスブルク　カール6世
2ターラー銀貨　ND（1711年−1740年）
NGC　MS64
(Top Pop　2025年3月現在)



イギリス　ジョージ2世
5ギニー金貨　1746年　LIMA
NGC　AU55



イギリス　ヴィクトリア
ゴシッククラウン銀貨　1847年
プレインエッヂ　ピュアシルバー
NGC　PF62　CAMEO



1円試作銅貨　昭和26年　武内宿禰
PCGS　SP64BN　※画像200%



安南（ヴェトナム）
紹治通寶
7ティエン銀貨
ND（1841年-1847年）
NGC　MS62
※画像80%

※安南（ヴェトナム）の
銀貨は他ロットに
複数枚の出品もございます



慶長大判金　元書　後藤家直し書
日本貨幣商協同組合鑑定書付　※画像30%

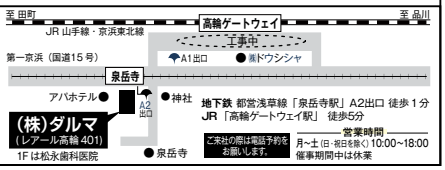


一分銀　貳拾五両包
※画像50%

第61回 日本コインオークションカタログ
1部2,000円 (オールカラー写真)
部数に限りがありますので、お早目にお求めください。

2025年12月13日(土)・14日(日)開催予定　第62回出品物募集中!!
2025年8月30日(土)到着品まで受付!!　(予定ロット数に到達次第、受付を締切る場合もあります。)

株式会社 ダルマ
〒108-0074　東京都港区高輪2-16-32　レアール高輪401
Tel：03-3447-5567　　Fax：03-3449-3344
E-mail：info@darumacoins.co.jp
URL：www.darumacoins.co.jp



泰星オークション 2025

5月24日（土）10：00 ～ 銀座フェニックスプラザにて開催



［70%縮小図］

日本
萩古丁銀 切遣い JNDA-古45
鋳造期間：室町期
重量：107.50g　寸法：101.00×47.00mm　珍品　桐箱付
日本貨幣商協同組合貨幣鑑定書／
NFT デジタル鑑定書付（R6.9.17）
状態：美／極美
下値価格 ￥ 7,000,000



英国
ヴィクトリア女王若き肖像
＜ウナとライオン＞
5 ポンド金貨 KM742
発行年：1839 年　品位：.917
重量：39.11g　直径：37.80mm
発行数：400 枚　珍品
NGC PROOF DETAILS REV SPOT REMOVED
状態：プルーフ
下値価格 ￥ 18,000,000



英領インド
ヴィクトリア女王像
ヤングヘッド／ライオン図
1 モハール試鋳銀貨 KMPn20
発行年：1854 年（C）　直径：25.00mm
珍品　トーン　桐箱付
NGC PF64 CAMEO　状態：プルーフ
下値価格 ￥ 11,000,000



［40%縮小図］

日本
旧国立銀行券 20 円札（第十五国立銀行／現三井住友銀行）JNDA-紙 2
発行年：明治 6 ～ 32 年（1873 ～ 99 年）
寸法：80.00 × 190.00mm　珍品　PMG 30 Very Fine　状態：普／美
下値価格 ￥ 10,000,000

本社下見のご案内

フロアが 3 階へ移動いたしました

泰星コイン　時間 10：00 ～ 17：00
4 月 26 日（土）～ 28 日（月）
5 月 12 日（月）～ 16 日（金）
5 月 19 日（月）～ 22 日（木）

下見をご希望の方はあらかじめご連絡の上、ご来店ください。
泰星コイン本社は 4 月 26 日（土）、27 日（日）以外の土・日・祝日休業です。

下見や入札など詳細はお電話、E メールでご連絡いただくか、弊社 HP にて随時更新される情報をご確認ください。オンラインによる事前入札も可能です。

オークション当日下見のご案内

銀座フェニックスプラザ 2階下見会場
5月24日（土）9:00～12:30

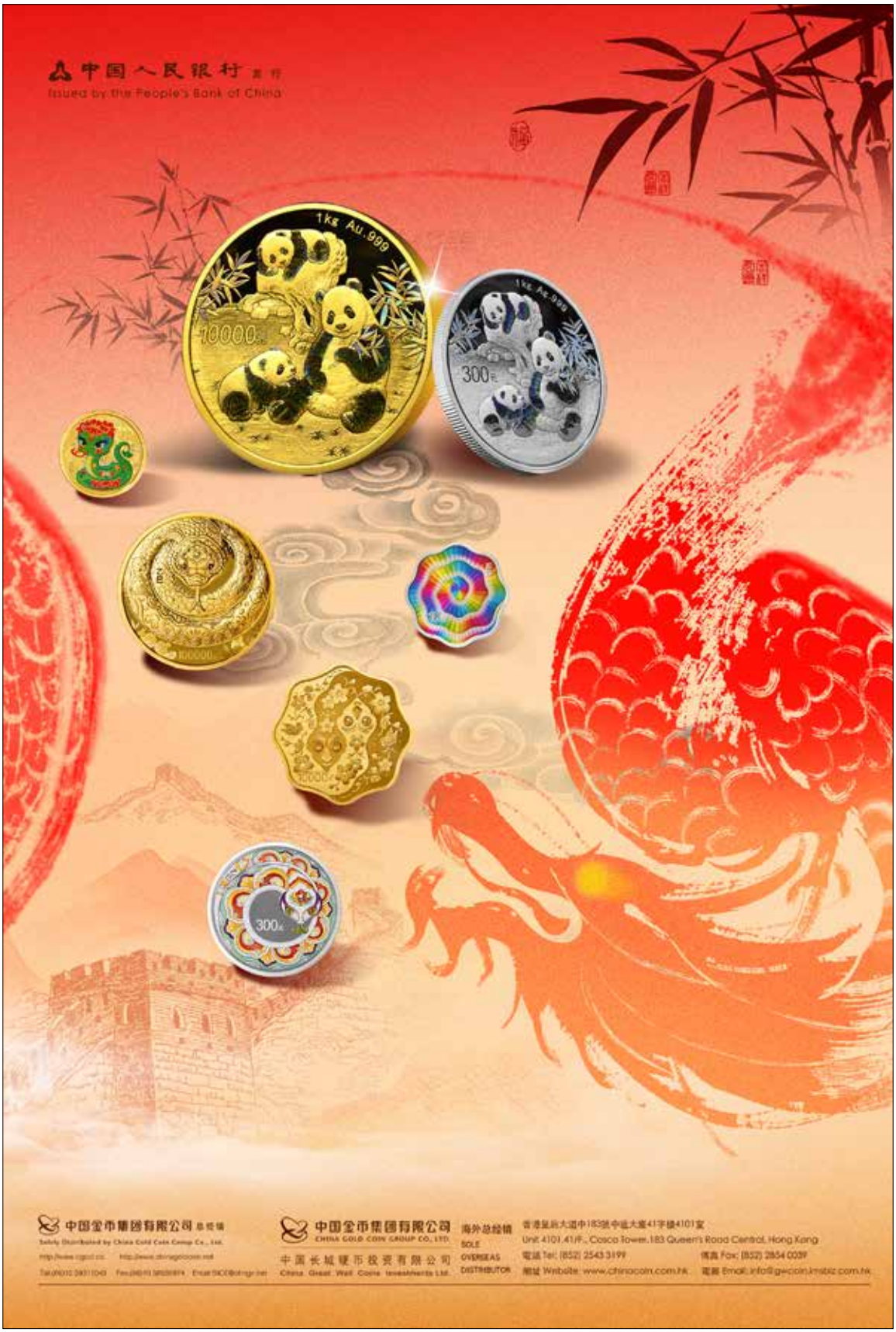
営業日時：平日（祝日除く）9:00～17:30

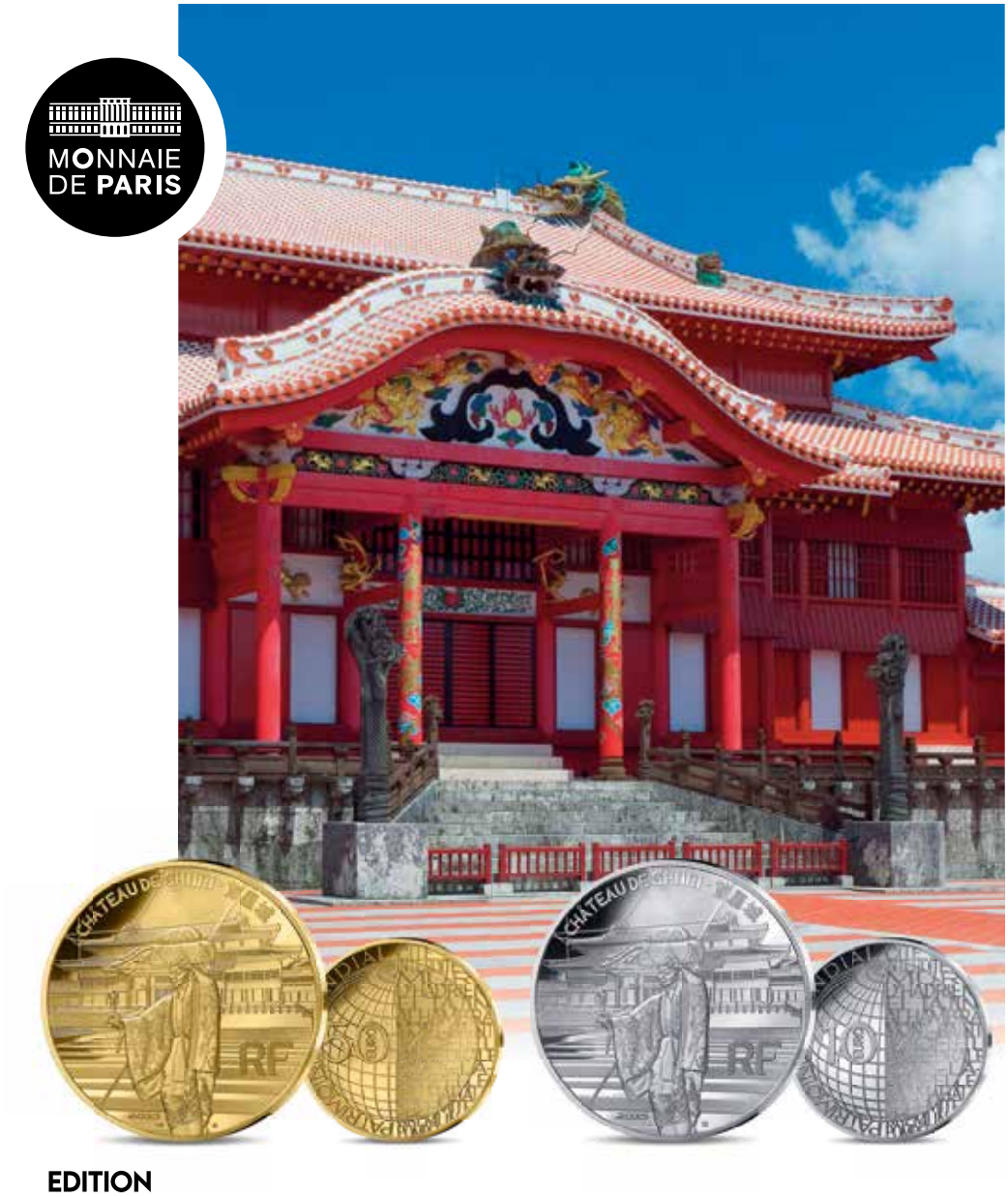
泰星オークション TAISEI AUCTION　オークション専用フリーダイヤル **0120-94-8650**

オークション専用メールアドレス auction@taiseicoins.com

泰星コイン株式会社 TAISEI COINS CORPORATION
〒104-0032 東京都中央区八丁堀4丁目9番4号西野金陽ビル3F
TEL 03-6735-2104 FAX 03-6735-2108
www.taiseicoins.com/auction/

auctions.taiseicoins.com


中国人民银行 发行
Issued by the People's Bank of China
1kg Au.999
10000元
1kg Au.999
300元
300元
中国金币集团有限公司
CHINA GOLD COIN GROUP CO., LTD.
中国长城硬币投资有限公司
China Great Wall Coins Investments Ltd.
海外总经销
SOLE OVERSEAS DISTRIBUTOR
Unit 4101,41/F., Cosco Tower,183 Queen's Road Central, Hong Kong
電話 Tel: (852) 2543 3199
傳真 Fax: (852) 2854 0039
網址 Website: www.chinacoin.com.hk



EDITION LIMITED

COLLECT WORLD HERITAGE 2025 COINS

Shuri castle, Notre-Dame de Paris, Rome's colosseum

MONNAIE DE PARIS – 11 QUAI DE CONTI – 75006 PARIS – MONNAIEDEPARIS.FR
50 EUROS Gold Proof 1/4 oz – Limited mintage 1000 / 10 EUROS Silver Proof – Limited mintage 5000
La Monnaie de Paris – EPIC – 160020012 RCS PARIS - Siège : 11 quai de Conti – 75006 PARIS.